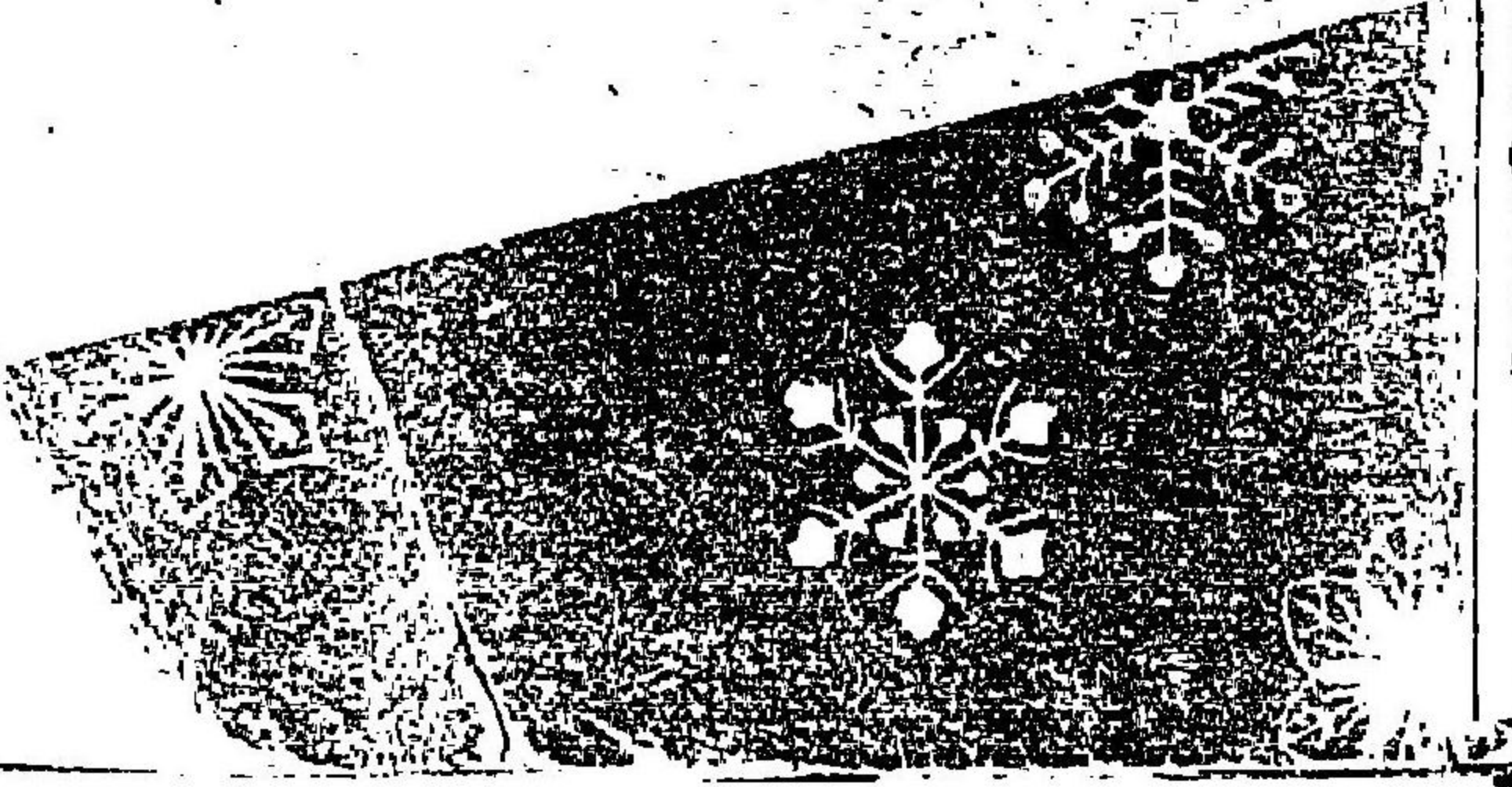


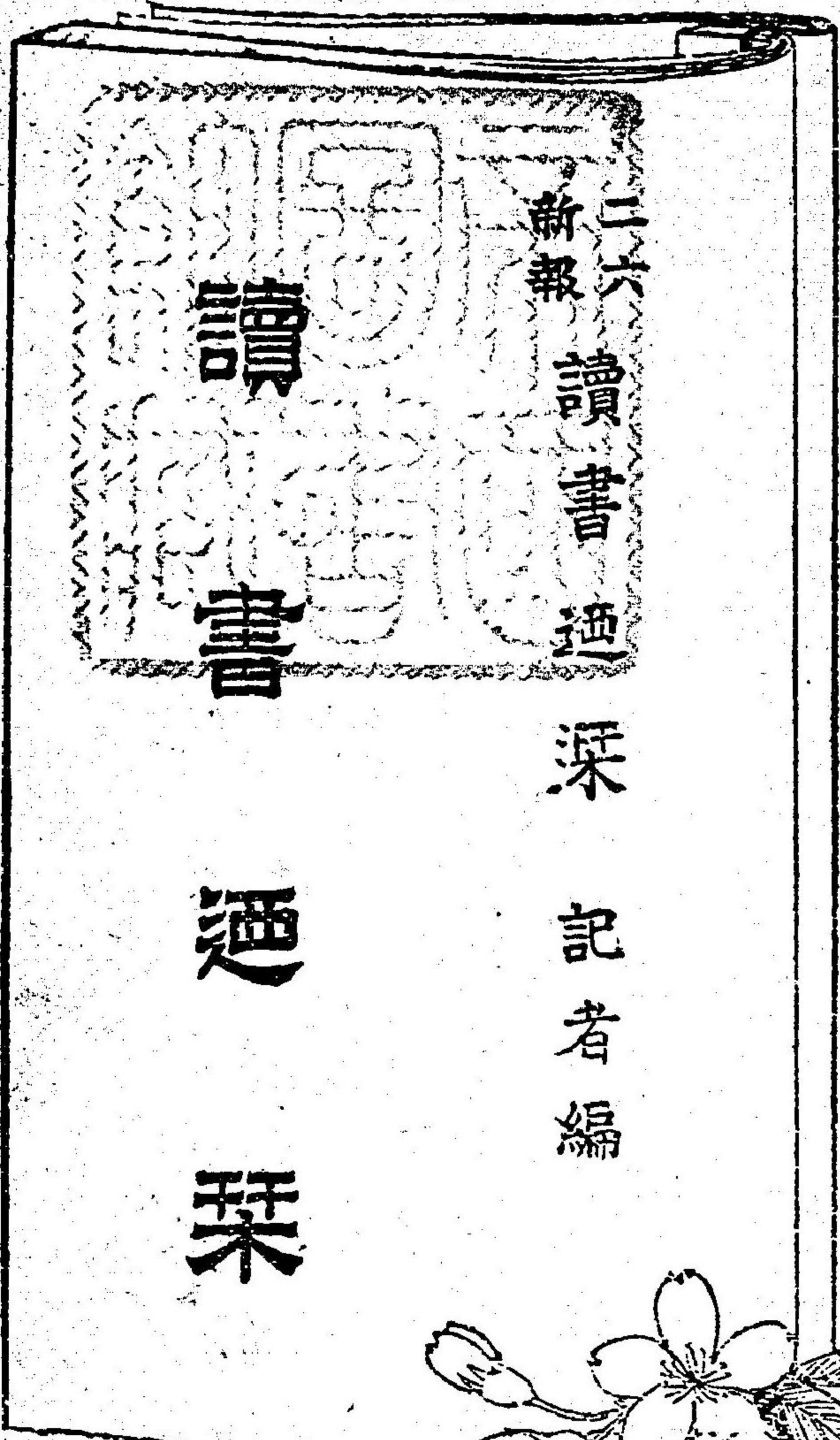
94  
121

二六新報社編纂

讀書

通彙

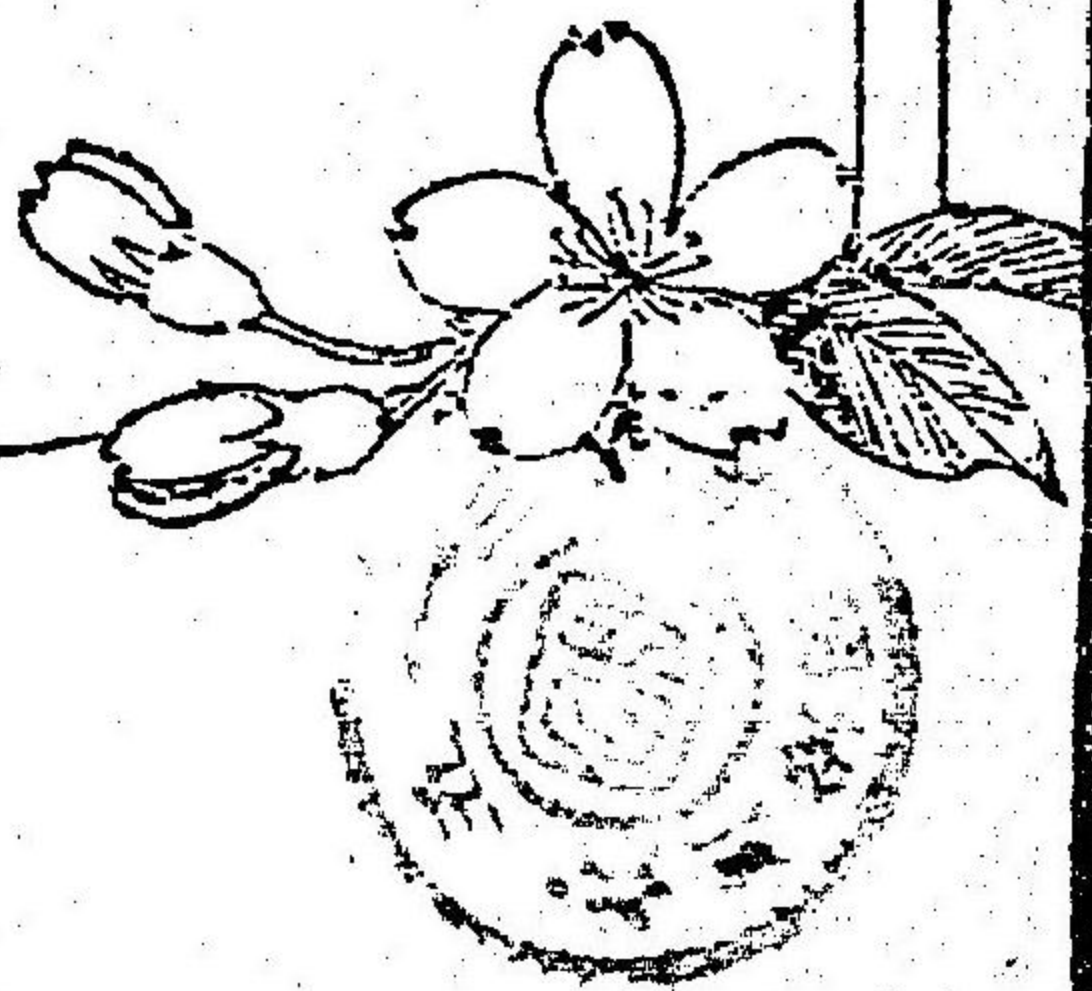




新報  
讀書通

深  
記者編

讀  
書  
通  
棊



讀書之樂題詞

琳瑯四庫一人諳。提要誰追紀曉嵐。架上  
不貧金字照。燈前有味白魚參。須知搏兔  
如搏虎。小著力全獅子庵。

寧齋弋初稿

「讀書の楽」を讀む

樂天

衣更へて書齋に坐る朝かな

唐書讀むや芭蕉玉卷く家搆

序 文

書を讀むは易き業に非ざれど、擇びて讀むことは、更に難しとする所あり、支那の如き、『四庫全書總目提要』ありて、擇びて索むるに便多けれども、吾邦には未だ此の如き津梁を興ふるものあらざるのみならず、新刊書の日月に市に上る者百千を以て數ふる程なるも、批評の道すら、未だ甚た具はらざるもの、如し、吾社茲に見る所有り昨冬以來『讀書の楽』の一欄を設け、普ねく江湖の讀書に志あるもの、及び或る事項につき調査研究の必要あるも、其の書目の搜索に苦しむもの、爲めに便利を開きしに、これが質問を寄するもの、去三月までに、三千餘通の多さに達せり、書肆野村氏其の世に益するとの

多きを察し、蒐輯して一冊子と爲し、以て廣く其の便を頒たんとす。金風長井君に請ひ、更に補正して是の書を成せり、長井君は余の益友にして、曩に吾社の此の欄を設くるや、常に顧問に備はれり、抑も君は學、和漢洋を該ね、初め經濟、法制に専らなりきも、棄て、史學に従ひ、殊に東洋史に邃し、今東京外國語學校、及び文部省の臨時教員養成所等に教授たるも、これを以て聊も廢せられず、四五十種の花、二三千卷の書、悠々自適して研鑽を樂めり、而して其の是篇に於いて兎を搏つに全力を用ゐるもの、亦全く衆を愛し物を濟するの微志に外ならざるなり、刻成るに及び、一言を卷端に題す。

二六新報社編輯局に於て

福田天風

## 例言五則

一是編昨年十一月以來本年三月に至る間、二六新報紙上、同記者が普ねく江湖の質問に答へたるものを訂正し、加ふべきは加へ、省くべきは省きて、更に有益なる事項を補ひ、出して世に聞ふに至れるものなり。

一昨年十一月より本年三月に至る間に於て、質問者の數三千の上に出で、其の答へたるもの四百件の多きに上れり、初め新報上未だ答ふに及ばざりしもの、是編多く之れを補ひたり。

一此の類の書、十數年前矢野文雄先輩の「譯書讀法」有りし外、久し

く有らざる所、惟是編解題に及ばず、体裁に於て、必ずしも相同  
じからざるなり。

一是編鴻音織響都べて敲くもの大小に従ふ、故に天下良書、此に  
盡くと爲すは、固より妄なり、然れども甚しき劣悪のものを擧げ  
ざるは、則ち自ら保するに足る。

一初め二六新報紙上「讀書の槩」の設けあるや、余亦聊か顧問に備は  
れるを以て、是編亦余の名を署するに至りぬ、毎年これを訂正増  
補して、輕便なる書名辭書の躰を成すに至らんことは、出版者新  
橋堂主人の、余と共に冀ふ所なり、

金風生記

目次

一書齋整理法	一頁
二國文研究法	一七
三漢文研究法	三
四外國語學習の槩	五
五支那史研究の架上	五
六經濟學研究の槩	五

七大小議員の架上……………	空
八公民の文庫……………	空
九若婦人の手匣……………	壹
一〇應問	
二索引	

以上

讀書の法

書齋整理法

- ◎書齋は我家の精神なり、書齋無き住屋は隆然たる骸骨のみ。
- ◎書齋を以て單に讀書の室と做す人は、呷唔咕嚕、是れ讀書の全體ど心得る人なり、書齋は我が退思靜養の洞窟にして、一家中最も神聖なる道場とす。
- ◎書齋と事務室と、或は寢室と混すべからず、客を書室に延くは、害有りて益無きものなり、書齋中に飲食すべからず、及ぶべくは

茶を喫することも、況して烟を喫することをや。

◎書齋と文庫とを并せ有せんことは願はしけれと、夥多の書を藏せざる人、又は長安桂玉、事情の許さざる人は、強ひて區別せずともありあらん。

◎藏書乏しきが故に、書齋を有するを要せずと以爲へる人あるは誤れり、書齋の必要は、藏書多寡の沙汰に非らず。

◎客室は陽に背きて却りて便するものなり、庭花は陽に向ひ開くものなれば、主客相對して、終日徒に花の背面を見る患無ければなり、書齋は必ず東南に面するを要す。

◎書架は風の透し宜しく、日常り十分なる室に拵ふるを尙べき、日

光の直射する如きは、又忌まざるべからず、櫛側の附きたる室は藏書に適すと知るべし。

◎洋書の西洋式の書棚に適するは論無し、和漢の書は用紙の脆弱にして且蠹害を生じ易きを以て、綿密なる注意を加へずんば如何なる式の書棚にても、思はぬ失錯を來すものあり。

◎數多く小き本箱を造りて、積み重ね置くは、近火の時などに持運ひに便に掃除にも都合宜しきものなり、大サは美濃判大本の入るべき程を標準として、中は三段に仕切るべし。

◎前記の箱に収むべき書籍は、綴口を下にして横に立並ぶ如くなし置くべし、故に毎段の高サは、又美濃判大本の横幅を標準とすべ



し、ギツリ詰込むは悪し、出納に不便なるのみならず、濕氣を受け、随つて、蠹害を招くべし。

◎ 毎冊必ず口書をなし置くべし、又表紙上に、小き標紙を貼付け、部門、分属、番號を記し、別に備ふる目録に留め置くべし。

◎ 必ず目録を製し置くべし、和漢書には索引の附かざる例なれば、暇有る毎に件名目録を製し置くなど、不時の需めに臨みて便多きものあり。

◎ 樟腦を入れたるに安心して、時々黠檢を怠る時は、思はぬ損害を受くるものと知る可し。

◎ 雑書を交へ藏するには、玻璃戸付きの大書棚も便多きものあり、

下には奉書全紙を入れるべき程の抽斗を附け置くべし、書畫などを藏するに必要なものあり。

◎ 鼠害を防ぐ要鎮亦堅固なるべし、狸奴は古より藏書を護する貴重  
の職務を附托せられたるものなれども、其の實猫の爲めに害を受  
くることも少からず、殘酷からざる捕鼠器を備ふべし、但し掃除  
に勝る防鼠法はあらずとす。

◎ 心を知れる友、又は我が弟妹など、時々書齋に延きて清娛を願つ  
べし、かゝる折りにも圍碁、カルタ、飲食などは嚴禁たるべし、  
機外、又は次の間に清楚なる茶、煙の設けあるべし。

◎ 我儘ある弟妹にても、時々我が書齋に招徠するの義務有り、且こ

れを招徠し、懐柔し置くことの利益たるを知る可し、美麗なる畫  
幀、珍しき博物書、地理書などを繕きて、丁寧に説明し、彼等の  
讀書趣味を誘致すると共に、圖書の貴重すべきことをも知らしめ  
置かば、掃除、蟲乾などの手傳にも、自ら勇みて進み助くべく、  
自然に愛護の念を生じ、不虞の要鎮ともなるなり。

◎ 通用の辭書、「法令全書」「町村一覽」、料理書の類は茶の間、又は  
家族會談などに供すべき普通の室中に備置くべし、總べて常務に  
關する書、家庭の讀物など、皆此に置くべし、かゝるものを書齋  
又は、藏書室中に混じ置く時は、俗務と、靜養と交錯して、少か  
らず讀書の趣味を没却するものなり、總べて家族の爲めに書齋以

外の書齋、即ち茶の間の文庫の設備は必要なるものなり。

◎ 細君の文庫中には看護書の外、必ず「臨床醫典」の類を備ふべし、今  
日の人は餘りに醫師を信じ過ぎたり、醫を信ずるは可なり、一に  
醫師に委任して、自ら裁する所以を知らざるは、愚の太甚しき也、  
醫師は中世期の專横ある僧侶の、人の志納金を布施するに由りて  
神に介して罪業の消滅を允可する權力有る如きものに非らず。

◎ 曝書は初秋の期に於てすべし、三伏中に行ふは裝釘を傷け、多く  
の害を受くるものあり。

◎ 書齋に書架を据ゑなば、必ず中心となるべき圖書を要する者あり  
一科の專攻有る人は、自ら擇ぶ所も有るべし、然らざる人は「ソエ

クスピヤ全集」の美麗に、且堅牢に装釘したる、ケース附きのもの如き最もこれに適するものとす、漢籍に取らば、「十三經注疏」と「十七史」今は二十四史の新刊本有り)の如き、將た和書には「六國史」と名筆にて書寫したる美裝の「源氏物語」或は代々撰集の類、これに副たるは、校訂正しき叢書の類とす、The Scott Libraryの如き Bohn's Libraryの如き、又は Macmillan's Colonial Libraryの如き、必ずしも完備せざるも、其の中の重要なるものを取り、全函の三分二を藏しおば、不時の需を充たすに十分なるべし、支那は「皇清經解」「同續篇」今は石印の廉價なるものあり、「二十五子」なども、石印のもの、底本の正確を以て十分信すべきものあり、「金石索」「金石

萃編」の類、「佩文齋書畫譜」等、研究的ならざるも、備置くに興味多し、日本の「群書類從」の經濟雜誌社本の得易き、誰も異議無かるべし、「史籍集覽」の校正疎漏にして、裝釘亦劣惡なるは惜しむべきあり、類典は英なれば Encyclopaedia Britannica. 獨は Meyer: Konv-  
ersation Lexikon. 佛は Larousse の La Plus Complete Des Encyclopédies Françaises. 誰も知る所なり、支那の備はれるは「圖書集成」なれども、專家ならずは、「文献通考」と、「淵鑑類函」などにて事足るべし、吾邦のは「類聚名物考」、又辭書は、西洋のは必ずしも言はじ、支那のは「康熙字典」(倭音に要無ければ、上海版のもの廉なり)あれば足る、「佩文韻府」は普通の讀書家に要少かるべし、國語は「和訓栞」と「言

海」あれば、雅言と、普通語と共に解し盡さるべし。

◎官吏、教員、又は會社員などの、他地方に赴任したらんものは、先づ務めて、其の地の地理、及び歴史、文學などに關したる古版又は寫本の類を索め、収めよ、直接に己か職業、職務と關係無きが如くにして、其の實、意外に利益を享くるものなり。

◎一の土地に定住するもの、又は永く淹留するものは他より見て珍奇なるものも、慣れて、左程に感せぬものなり、地方の文學資料を収捨するは新來の客人に限る可し、徃々燕石を藏して楚璞と爲すの嘲りをも受くべけれど、大躰に於て、滄海に遺珠を捨ふの功は、新來の珍客に限ることあり。

◎大藩の跡には、佳良なる版本あるものなり、「教育史資料」(文部省)あと、常に讀み置き、郁々乎たる舊代の文華を記憶し置く可し。

◎財力餘り有るに非ざるも、文學を外護するの精神にて、時々の新刊、又は大部の翻刻、編纂物などを購ひ置くべし、前者は信用すべき新聞の批評、又信用すべき著者の署名を見て購ふべく、後者は豫約月賦などの便法にて購ひ得可し、不朽なる名著は、即ち一廉の財産なれば、購置くに損は無きものあり。

◎或人、又は或事の紀念として、其の人、又は其の事に關係有る書籍を購ひ置くなど、哀れに興深きものなり、かゝる圖書は、其の卷首、又は卷尾に端正に事の由を自記し置くべし、寫眞など貼附

け置くも面白し。

◎ 目録の學は、總べての學問中第一緊要のものなり、「群書一覽」「尾崎雅嘉及び赤堀又次郎「國語學書解題」は必ず備置くべし。外に「隨筆索引」亦便多し、支那のは「四庫全書總目提要」の可なるは論無ければ、「四庫簡明目録」と、「張氏書目答問」とを併せ巾箱本としたる至廉のものあり、これにても一應の用は辨じ得らる可し、若し「十三經策案」と、「二十四史策案」とを併せ得ば更に佳なり、餘力有る人は朱氏「合刻書目」を備置く時は、書籍の搜索に至便とす。

◎ 西人の日本に關せる著述目録は獨人 Fr. von Wenckstern 氏の *A Bibliography of the Japanese Empire* とす、西歷一八五九年より、一八九三年、

即ち我が安政六年より、明治廿六年に至る間に於ける、歐洲人の手に成れる日本に關する、あらゆる著述、記録、文書等の目録を網羅せるものなり、附録に M. Leon pag's *Bibliographie Japonais ou Cataloges relatifs au Japon*. を以てせり、即ち一八五九年より遡りて、第一五世紀に至る間に於ける日本關係圖書目録なり、同種の支那に關するものには、Cordier 氏の *Bibliotheca Sinica, Dictionnaire Bibliographique des Ouvrages relatifs à l'Empire Chinois*. あり、又同氏の朝鮮書目有り。

◎ 支那式の帙入は、多雨多濕の日本には適せぬものなりと知る可し可成は、帙を外つして藏し置くか、又は十分除蟲の手當ある可きなり。

◎いさゝかにも蠶害を受けたるものあるを發見せば、手早く隔離法を行ふ可し。

◎カトネーションの小盆など、書齋の窓下に、香氣多き草花を置くこと亦清娛を助くるに足らずとせず、ミニオテット(木犀草)といへるものなど、花は左程にあらざれども、清芬壁間に満ちて愛すべきものあり、但し插花は用捨あるべし、殊に懸花筒は慎しむべきなり、その外観葉植物の賞すべきもの多し。

◎平生讀まざるの故を以て、藏書を無用と以爲へる人多し、如何なる學者と雖も、日々その藏する所の書籍を轉翻し盡すものに非らず、平生運轉使用するものは藏書中の十一、又は百一のみ、其の

他は互に豫備候補の用をなすものなり、人は二六時中字引と首引し居るものに非されども、如何なる學者、不學者に論無く、必ずその程々に字引の一を備へざる無きは、以て不時の需めを待つなり、総べて書籍は、或る意味に於て、盡く字引たるに外ならず、二六時中斷へず用ゐる無きの故を以て字引に要無しと思へるもの無きが如く、平生讀まざるの故を以て、書籍の無用を妄言するもの無かるべき筈なり。

◎張之洞云く凡有力好事之人、若自揣德業學問、不足過人、而欲求不朽者、莫如刊布古書、但刻書必須不惜重費、延聘通人、甄擇秘籍、詳校精雕と、然り書を刊布する固より亦不朽の業なり、而し

て書を藏する亦不朽の業に非ざる莫きを得んや、但又必ず甄擇する所以を知る可きのみ。

◎善良なる藏書家は、それ猶銀行家の經濟界に於けるが如きか、智識の市場に於て、一日も無かる可からざる公の機關に非らずや、自ら之を讀まざるの故を以て、書を藏するを無用と信するは、商業家と、銀行家と、其の樹立する所の同じからざるを知らざるの過のみ。

## 國文研究法

國文は元語學的、及び文學的の二方面より研究すべく、其の方面を異にするに依りて、隨つて之れが發程を異にせざるべからず、今左に此の兩部門の研究法の概要を述べし。

### 文學的研究法

日本の文學は之れを歴史的に考察する時は、數時期に分ち得べしと雖も、南北朝兩立の時代を分水嶺として、新舊の二大時期に劃し去るを便とす。

先づ此の後期の研究法を述べし。

先づ太平記を讀む、太平記は嚴密なる意味に於て據るべき歴史に非らずと雖も、文學研究者が、當時の精神を知り、概括的に其の時勢光景を觀るには、便なるものあり、況んや其の書亦後期文學上の一產物とし研究すべき價值ある者なるに於てをや、扱太平記は水戸の參考本を用ゐる、此の書に依り當時を尙論しつゝ、徒然草を讀む、徒然草は北村季吟の文段抄(活版本有り)を用ゐる、淺香山井の諸抄大成二十卷、又は隱者閑壽の集說十五卷を得て併せて觀る時は古注の荒増を知るべきあり、神皇正統記を讀む、續後拾遺、新葉等、及び新千載、新拾遺、新後拾遺、新續古今を當時の歌集を讀む、この中得

るに従ひて用ゐるべし、必ずしも完備せし、李花和歌集(宗良親王)、及び兼好家集を讀む、足利時代の特産は謠曲と連歌なり、前者は謠抄二十卷、謠曲拾葉集抄二十卷、かどわれとも、大和田建樹謠曲通解は最も得易し、奈良土産三卷、同返答三卷、及び能樂繪圖、又は謠曲訓蒙繪圖などいへるものを差し添へて見るべし、又秦曲正名闕言二卷といへる漢文にて謠曲の由來などを記したるものあり、讀みて興多きものなり、和歌は此の時代のもの群書類從に多く収められたり、其中頓阿の草庵集、徹書記の草根集、常縁集、及び宗祇集、學白集等を見て當時の風躰を盡すべし、連歌につきては菟久波問答、吾妻問答、さしめことなど又群書類從中に在り、又此の時代の歌論は、今川了



俊和歌所不審條々、全辨要抄、徹書記物語、東野州聞書、兼載雜談等を見る可し、下りて徳川氏に至りては俳諧、及び淨瑠璃、小説並に俗謡の發生有り。(徳川文學研究法は徳川に記すべし) 足利氏の時に成れる軍記、及び武家故實、飲食、遊戯などに關したる記述甚た多し、是等は文學として價值無きものなれども、併せ見て時代を尙論するの資に供すべし、細川幽齋などの名將、宗祇、宗長などの連歌師、其他紀行多くあり。扱廻りて前期に於ける研究の道しるべをなすべし。

先づ「古事記」及び「日本書紀」を讀む、本居宣長、古事記傳(本居宣長集)中の活版本あり、木版は高價なるを以て、古事記傳略にても可なり

橘守部の稜威道別、同言別等を用ゐる、古事記神代卷は、良き古版物を得て、併せ觀る最も可なり、經濟雜誌社國史大系を備ふる時は甚た便なりとす、谷川士清の日本書紀通證は文章上の吟味をなすに必要なり、「祝詞」は賀茂眞淵の祝詞考三卷、本居宣長の大祓詞後釋二卷、出雲國造神壽後釋二卷を讀む、「風土記」は近年圖書株式會社出版の栗田氏標注本求め易し、同人古風土記逸文を併せ見る、「詔詞」は本居宣長の歷朝詔詞解を用ゐる、「萬葉集」は橘氏畧解は二種の活版本有りて極めて求め易し、契沖代匠記、及び鹿持雅澄古義共に今活字本有り、眞淵の萬葉集考は、必ず見べきものあり、田中道麿の撰集萬葉徴といふものあり、これ又歌學者、及び語學者の見て益有るも

のなり、單に和歌を學ぶたよりにせんとせば、長瀬眞幸の萬葉集雅調、同拾遺枕秘にすべし、〔物語〕は竹取物語は注釋したるもの少し、小山儀といへる人の抄(入江昌喜序)あり、見る可し、伊勢物語は眞淵の古意を用ゐ、契沖の臆斷と併せ見る尙可あり、季吟の拾穂抄、藤井高尙の新釋など種々あり、細川幽齋の闕疑抄、一條兼良公の愚見抄など、又刊本有り、宇津保物語、濱松中納言物語、住吉物語等亦讀むべし、共に劣悪るれども活字本有り、源氏物語は、湖月抄、最も得易く、入り易し、單に此の物語の筋を知らんには湖春の忍草を讀む、さて湖月抄に、宣長の玉の小櫛、壺井義知の男女裝束抄を添へて讀めば、先づは遺憾無しと云ふべし、外に安藤年山の紫女七論

を讀み、又熊澤蕃山の源氏外傳を讀む、外傳は見識有りて面白き評論あり、又源氏物語研究の歴史を調ふることも、一の學問なれば、さる志有らん人は普ねく古注を讀むべし、次に狹衣を讀み、次に和泉式部物語を讀む、前者には系圖、及び下紐(注釋あり)を附刻するものあり、又とりかへはやを讀む、此の外唐物語、大和物語、今昔物語、宇治拾遺物語、四季物語、堤中納言物語等あり、〔日記〕は、土佐日記は季吟の抄あり、岸本由豆流の考證は新舊刻本有り、橘守部の船之直路、富士谷成章の燈共に新刻有り、後者は活版あり、紫式部日記は壺井義知の傍注あり、蜻蛉日記は、坂徴の解環といふ者あり、其の外辨内侍日記、讀岐典侍日記等を讀む、方丈記は槇島昭武

の流水抄といふもの宜し、十六夜日記今本多くあり、「草子」は枕草子は季吟の春曙抄廣く行はる、壺井義知の裝束抄を附刻したるものあり。

扱又和歌は古今集は宣長の遠鏡を見、契沖の餘材抄、眞淵の打聽等併せ觀るべし、新古今集は同じく宣長の美濃の家つと、同折添を見る、其他代々の敕撰、私撰、家集など具載せず、又博覽のためには定家卿の顯注密勘、僻案抄等見る(群書類從中に在り)、歌學は八雲御抄、輿儀抄、袋艸子、和歌初學抄、清輔雜談集、初中抄、悅目抄、新撰腦隨、古語深秘抄、詠歌大概、三部抄、桐火桶、古來風躰抄、等を讀むべし、是等は群書類從、及び續群書類從中に収めらる、單

行するも多し、詠歌のためには徳川歌學のみにて足れども、歌學研究のためには、遠く古に遡りて、當時の風尙、智識を究めざるべからず。

〔雜史〕は大鏡、増鏡、及び水鏡、又續世繼あり、大鏡は久米氏の校本稍宜し、榮華物語は今人の抄あれど、さしたるものにあらず、古本を求め讀むべし、保元物語、平治物語は水戸の參考本を用ゐるべし、源平盛衰記又同じ、此外専ら史學のためには必要のもの多けれども、國文のためには約に従ふに妨げなきもの畧す。

〔有職〕の書も、文學研究のためには、直接の關係るければ、此に畧すと雖も、総べて古書を説くには、其時代の風俗、制度を知ること

必要なれば、學者固より忽にすべからず、〔管絃〕など、文字と關係深きもの、今在に一二をしるす、

本居大平の催馬樂新釋、橋守部の神樂催馬樂入綾、入文、一條兼良公の梁塵愚案抄と併せ觀る、又沙彌明空の郢曲撰要を讀む、以上は文句を輯めたるものあり、むねと聲律を論じたるものは零す。語學的・研究法

語學的に研究せんとするものは、右の中、必ずしも讀まざるものありと、文學的研究の綜合的なるに比し、自ら分拆的ならざるべからざる道理なるを以て、更に精細に研覈せざるべからず、此の法門よりするものは、先づ又言語學の大要を知り、比較言語學の智識の幾

分を有せんことを要す、而して其の目的に依り、古に遠くして、今に疎かるものと、今に精くして古に畧かるものとあるべしと雖も、并は其の選ぶ所に従ふべし、今前記各書籍以外、此の學者に切要なるものを擧ぐ、

〔總義〕英セース著、上田萬年、金澤庄三郎共譯言語學 米ホイトニ  
 一著、保科孝一譯言語發達論 佛ダルトステツテル著、金澤庄三郎譯ことはのいのち 上田萬年著國語のため  
 伊澤修二視話法 同視話應用國語發音指南 岡倉由三郎發音學講話 保科孝一國語學小史

〔文法〕大槻文彦廣日本文典

同別記

岡田永井二氏新式日本文

法 岡倉由三郎文及び文の解剖

歴史的に文法學の發達變遷、及び分派を知らんと欲せば、國語學小史(前出)、及び赤堀又次郎語學書解題に依りて搜索せんことを要す、此に假名遣を論じたる最も舊きものより、近世有名なるもの數種を擧ぐ、

契沖和字正濫抄 同和字正濫要略 橋成員和字通例書

無相文雄和字大觀抄 楫取魚彦古言梯 高田與清古言補正

本居宣長字音假名字遣 紐鏡 詞の玉緒 本居春庭

詞八衢 詞通路 富士谷成章かざし抄 わゆひ抄

鈴木胤四種論 東條義門山口聚 活語指南 活語

雜話 活語餘論 玉の緒線分 於乎輕重義 此外多く有

れども未刊本なり、近時其の遺族に就き梓行を計るものありといふ、 富樫廣蔭 鶴峰戊申語學新書 權田

直助語學自在

〔字書〕倭名類聚抄二十卷(源順) 舊くより刊本數種有り、善本に乏し、

又舊活字本及び新刻活字本有り、 新撰字鏡 十二卷(僧昌住) 海藏略

韻十卷(虎關) 二卷のもの間々出づ、節用集饅頭屋本一卷(林宗二) 倭爾

雅八卷(貝原好古) 日本釋名一卷(同上) 東雅二十卷(新井白石) 同文通考四卷

(同上) 和訓栞十三卷(谷川士清) 今活版本(三冊) あり、撮壤集、林逸節

用集、桑家漢語抄を附刻す、雅言集覽三編まで上木(石川雅望)

冠辭考十卷(眞淵) 同續貂七卷(上田秋成)

漢字三音考一卷(宣長) 地名地音轉用例一卷(同上) 梵漢對譯字類篇一卷  
(行智) 萬葉用字格一卷(春登) 萬葉借字對照一卷(正木千幹) 備字例一卷  
(關見翁) 和楷正訛一卷(太宰純) 和文奇字解一卷(上海新刊本)

扱又言語學を原書にて學ばんとせば、其の最も簡約なるものとして  
は、スウ# ート氏の History of Language (Temple Cyclopoedie primers 叢書中  
のもの)用ゐらる、若し其の有名ある大著に至りては

- 1 M. Müller: Lectures on the Science of Language. 2 Vols.
- 2 H. Steintal: Einleitung in die Sprachwissenschaft.
- 3 G. Gabelentz: Sprachwissenschaft.

- 4 F. Misteli: Charakteristik der hauptsächlichsten Typen des Sprachbaues.
- 5 W. v. Humboldt: Über die Verschiedenheit des menschlichen Sprachbaues  
und ihr Einfluss auf die geistige Entwicklung des Menschengeschlechts.

## 漢文研究法

漢文の研究は、二大部門に分たる、即ち支那古學の研究、及び現代支那の研究と、是れなり、此の二大部門中、又幾多の綱目有り、

### 甲 支那古學の研究

(一)は經學なり、(二)は史學なり、(三)は文學なり、經學は附屬するに諸子學及び道、釋二教を以てす。

經學の研究法は、又之れを語學的、及び哲學的の二途に分つ、語學的研究とは、經學は、元先秦中華人の思想にして、これを記したる

ものは先秦の言語なり、故に經學の眞面目は、先秦の言語を究明するに非らざれば、闡揚する能はざるなり、夫れ言語は時代に從つて變遷す、又支那の如き五方、各其の音を異にし、南北方言遂に相通する能はず、故に經學は、經學の發生したる支那中州の正音を求め二千年前の中州語に依りて、初めて眞釋解を得べきものにして、假令ば宋儒が、宋時代の言語に依りて、經典を説くもの、誤り多きが如く、此の如き疑似混淆を一掃して、周公孔子の眞面目を見べきものは、全く語學的研究の力に依らざるべからず、蓋し顧亭林以來、清朝に於て、此の如き研究は、大に歩武を進められ、徵實の學、今の昔より勝るものあり、惟、支那人は眞に言語學の原理を知らず、

往々其の適用を誤るものあるを以て、音韻、字形、訓詁の論、頗る勤めたるものありと雖も、尙吾人の助力に待たざるべからざる所になり、今此の門戸より進んで漢學を研究せんとする時は、差當り左の諸書を讀まざるべからず、

顧亭林 音論三卷 唐韻正二十卷 古音表二卷 韻補正一卷

九經誤字一卷

惠定宇 九經古義十六卷

戴東原 方言疏證十三卷 聲韻考四卷 聲韻表十卷

江慎修 群經補義五卷 古韻標準四卷 音學辨微一卷

臧玉林 經義雜記三十卷

王文簡 經義述聞三十二卷 經傳釋詞十卷

郝蘭皋 爾雅義證二十卷

段懋堂 說文解字注三十卷 六書音韻表二卷

桂未谷 說文義證五十卷

翟晴江 爾雅補郭二卷

錢獻之 爾雅古義二卷 爾雅釋地四篇注一卷

武虛谷 群經義證八卷

莊葆琛 五經小學述二卷

嚴鐵橋 說文聲類十六卷

江子蘭 說文音均表十八卷



苗仙麓

說文聲讀表七卷

俞曲園

群經平議二十五卷

以上殊に其の顯著なるものを挙げたるのみ、各經籍に至りては、一舉くるに堪へずと雖も、今江子屏、及び張香濤二家の選擇したるものを並び挙げ、以て取舍を知らしむ、後者は専ら時務に急なるもの、爲めに讀書の要約を知らしめたるもの、考古の専科に至りては固より此に止まる能はざるなり。

〔易〕易圖明辨十卷(胡渭) 易說六卷(惠士奇) 周易述二十三卷 易漢學八卷 易

例二卷 周易本義辨證五卷(以上惠定宇) 易述贊二卷(洪榜) 周易虞氏義

九卷 虞氏消息二卷(以上張惠言) 易音三卷(顧炎武)

〔書〕古文尙書疏證八卷(閻若璩) 禹貢錐指二十卷 圖一卷(以上胡渭) 古文尙

書考二卷(惠定宇) 尙書考辨四卷(宋鑑) 尙書後案三十卷(王鳴盛) 尙書集注

音疏十二卷 尙書經師系表一卷(江良庭)

〔詩〕詩說三卷(惠周惕) 毛鄭詩考正四卷(戴震) 詩本音十卷(顧炎武) 詩音表一

卷(錢坫)

〔禮〕周官祿田考三卷(沈彤) 禘祫說二卷(惠定宇) 周禮疑義舉要七卷(江水) 考

工記圖二卷(戴震) 弁服釋例十卷(任大椿) 車制考一卷(錢坫)

儀禮鄭注句讀十七卷 監本正誤一卷 石經正誤一卷(以上張爾岐) 儀禮小

疏一卷(沈彤) 儀禮釋宮譜增注一卷(江水) 儀禮管見四卷(褚寅亮) 儀禮正譌

十七卷(金日追) 儀禮圖六卷(張惠言) 禮經釋例十三卷(凌廷堪)

深衣考一卷(黃宗義) 明堂大道錄八卷(惠定宇) 禮記訓義擇言八卷 深衣  
考誤一卷(江永) 深衣釋例三卷(任大椿)  
禮說十四卷(惠士奇) 禮經綱目八十五卷(江永) 禮箋十卷(金榜)  
〔春秋〕左傳杜解補正三卷(顧炎武) 左傳事緯十二卷 附錄八卷(以上馬國) 春  
秋長歷十卷 春秋世族譜一卷(陳厚耀) 左傳補注六卷(惠定宇) 春秋左傳小  
疏一卷(沈彤) 春秋地理考實四卷(江永)  
春秋說十五卷(惠士奇)  
〔四書〕四書釋地一卷 續一卷 又續二卷 三續一卷 餘論一卷(以上閻若璩) 鄉  
黨圖考十卷(江永) 孟子字義疏證三卷(戴震) 論語後錄五卷(錢坫) 論語駢  
枝一卷(劉台拱)

〔總義〕九經誤字一卷 九經古義十六卷 群經補義五卷 經義雜記三十卷  
(以上前出) 古經解鈎沈三十卷(余古農) 經傳小記三卷(劉台拱)  
〔爾雅〕爾雅正義二十卷(邵晉涵) 方言疏證十三卷(前出) 釋名疏證八卷 補遺  
一卷 續一卷(以上江良庭) 小學鈎沈二十卷 字林考逸八卷(任大椿) 說文解  
字義證五十卷(前出) 別雅五卷(吳玉搢)  
〔音韻〕音論三卷 唐韻正二十卷 古音表二卷 韻補正一卷(以上前出) 古韻標  
準四卷(前出) 四聲切韻表四卷(江永) 音學辨微一卷(前出) 聲韻考四卷  
戴震 聲類表十卷(前出) 四聲均和表五卷 示兒切語一卷(以上洪榜)  
〔樂〕律呂新論六卷 律呂闡微十卷(江永) 律呂考文六卷(錢塘) 燕樂考原六卷(凌  
廷堪)

以上は江子屏の挙げたるもの。

〔易〕程傳 周易集解孫星衍

〔書〕尚書今古文注疏孫星衍 毛詩傳疏陳奐

〔春秋〕春秋大事表顧棟高 〔公羊〕 公羊通義孔廣森 〔穀梁〕 穀

梁補註鍾文烝

〔儀禮〕儀禮正義胡培羣

〔周禮〕周禮正義孫詒讓

〔禮記〕禮記訓纂朱彬

〔論孟〕朱注の外 論語正義劉寶楠 孟子正義焦循

〔爾雅〕爾雅義疏郝懿行

〔總義〕東塾讀書記陳澧 經義述聞王引之

〔說文〕說文句讀王筠

以上は張之洞が守約中に舉ぐる所。

右は語學的研究の側面より挙げたるものなれば、哲學的研究には、以上書目中必ずしも講究を要せざるもの多しと雖も、全く語學的智識を外にして、古代思想を論せんとするは誤れりと謂ふべし。

全祖望の宋元學案一百卷 及び黃宗義の明儒學案六十二卷 の二を備ふる時は、近世支那理學の綱領系統を明かにするとを得、此の外正誼全書(二十五卷附、錄一卷、外五十二卷、文集十二卷、遺文一卷、附錄一卷、周易傳四卷、經說八卷、粹言二卷) 張子全書十五卷 朱子語類一百四十卷 朱子全

書六十六卷 象山語錄四卷 黃氏日抄九十五卷 大學衍義四十三卷(眞德秀) 補  
一百六十卷(邱濬) 讀書錄十卷 續錄十二卷(薛文清) 王文成公集三十八卷  
呻吟語選二卷(呂坤) 子劉子學言三卷(劉宗周) 三魚堂文集十二卷 外集六  
卷 附錄一卷(陸隴其) を備ふる時は足れり。

又此の學派の經解は姑く茲に畧す、學者若しこれを知らんと欲せば  
佐藤一齋の讀書次第に依るべし。

支那古代の異端哲學は老子(王弼注二卷) 老子道德經考異上下卷(畢沅) 管  
子(房元齡注)二十四卷 管子義證八卷(洪頤煊) 墨子十五卷(畢沅) 列  
子(張湛注八卷附段敬順釋文) 列子盧重元注八卷 莊子(郭象注附釋文)十卷 劉  
析子一卷 商子五卷 慎子一卷附逸文 素問(王冰注)二十四卷 周髀算經二卷

公孫龍子三卷 尸子二卷 呂氏春秋高誘注二十六卷 荀子楊揅注二十卷 荀

子補注一卷(郝懿行) 文子讚義十二卷 (以上先秦) 漢楊雄法言李軌注十三卷

音義一卷 同五臣注十卷 同陸賈新語一卷 同賈誼新書十卷 魏徐幹中論

二卷 晉楊泉物理論一卷 隋王通中說十卷 唐劉禹錫因論一卷

史學につきては、別に地理及び歴史の部に述ぶるを以て此に略し、

### 乙 支那の現代的研究

歴史は御批通鑑輯覽、又は紀事本末左傳五十三卷、通鑑四十二卷、宋史二十六  
卷、元史四卷、明史八十卷、三藩四卷を用ゐ、之れに繼くに魏源聖武記、平  
定粵匪紀略の類を備ふ、十一朝東華錄を備ふるを得ば至妙とす、胡  
文忠公集、曾文正公全集、左文襄公全集、及び曾惠敏公奏議、彭剛

書六十六卷 象山語錄四卷 黃氏日抄九十五卷 大學衍義四十三卷(真德秀) 補

一百六十卷(邱濬) 讀書錄十卷 續錄十二卷(薛文清) 王文成公集三十八卷

呻吟語選二卷(呂坤) 子劉子學言三卷(劉宗周) 三魚堂文集十二卷 外集六

卷 附錄一卷(陸隴其) を備ふる時は足れり。

又此の學派の經解は姑く茲に畧す、學者若しこれを知らんと欲せば 佐藤一齋の讀書次第に依るべし。

支那古代の異端哲學は老子(王弼注二卷) 老子道德經考異上下卷(畢沅) 管

子(房元齡注)二十四卷 管子義證八卷(洪頤煊) 墨子十五卷(畢沅) 列

子張湛注八卷附(段敬順釋文) 列子盧重元注八卷 莊子(郭象注附釋文)十卷 劉

析子一卷 商子五卷 慎子一卷附逸文 素問(王冰注)二十四卷 周髀算經二卷

公孫龍子三卷 尸子二卷 呂氏春秋高誘注二十六卷 荀子楊倞注二十卷 荀

子補注一卷(郝懿行) 文子讚義十二卷(以上先秦) 漢楊雄法言李軌注十三卷

音義一卷 同五臣注十卷 同陸賈新語一卷 同賈誼新書十卷 魏徐幹中論

二卷 晉楊泉物理論一卷 隋王通中說十卷 唐劉禹錫因論一卷

史學につきては、別に地理及び歴史の部に述ぶるを以て此に略し、

乙 支那の現代的研究

歴史は御批通鑑輯覽、又は紀事本末左傳五十三卷、通鑑四十二卷、宋史二十六卷、元史四卷、明史八十卷、三藩四卷を用ゐ、之れに繼くに魏源聖武記、平定粵匪紀略の類を備ふ、十一朝東華錄を備ふるを得ば至妙とす、胡文忠公集、曾文正公全集、左文襄公全集、及び曾惠敏公奏議、彭剛

直公奏議、李文忠公奏議の類亦備ふべし、略を欲せば皇清名臣奏議亦可なり、皇朝經世文、正、續、三、四、新編有り、皇朝經濟文編同新編有り、以て近時支那人の思潮を測る可し、地理は大清一統志五百卷、最も備はる、近時縮刷本有り、大清會典は坊行巾箱本は一百卷に止まり、圖說事例を欠くと雖も、亦今制を概見すべし、各國約章纂要、通商始末記、光緒通商總覈表外二種合刻本、中俄交涉記、中日戰守始末記、王之春使俄草、李傅相聘歐美記の類、及び近日自強を論するもの、其の書頗る多し。

## 外國語學習の槩

◎英語の自修につき質問し越したるもの幾百人なるを知らず、然れども、語學の獨修の勞多くして、功少きは何人も知る所、萬障を排して師に就くに如かざるは、應問中已に説き示し置きたる所なり、唯事情甚だ諒とすべきもの無きに非らず、且發音、會話は姑く之れを措き、單に譯讀の力を得んことは、亦必ずしも難しとせざる所、今即ち是等希望者の爲めに、學習の槩を物せんとす。

◎單に譯讀の力を得んことは、獨修の必ず到り難きに非ざること前

述の如しと雖も、総べて獨習は、一通りの門徑を得たる後に非ざれば、甲斐無きものなり、故に如何に耐忍力強く、勉強衆に超ゆるものと雖も、其の初め一應は人に就き、發音、綴音、文典の初歩など問ふ所有る可きなり。(英語を能くするものゝ、獨、佛語等を自修せんとするもの、亦同じ)

◎此の如き獨修者は、其實初めより讀書を擇ぶの要無きものなり、讀本を直譯と共に買ひ求め、三四冊を讀み了る可し、三原好太郎英語新法(四十錢)、英文新法(三十錢)など、又はイーストレーキ氏會話文法を讀む、かくて尙中學校教科書用の讀本類を讀み行けば知らず識らずの間に慣熟するに到るべし、中學校教科書用のもの

は、大抵直譯あるを以て、併せ購ひて、自修に供すべきなり、又かゝる間にも、尙語學生其他の知友と往來して、務めて其の發音譯讀、文典などの所得を闘はしむべし、不慥かなる生徒の説に聽従するは、元來危險ある所行なれども、尙孤陋にして寡聞きに勝るべし、又此の際マツケロー外一氏英語發音學(一圓三十錢)などを讀むべし。

◎習字を學び、又自ら多く書寫することを習ふべし、算用數字の如き、日本人が殆んど普通に使用してより三十年に上れるものにして、其の實未だ正しき字形を記し能はざる人多し、書を以て心の影となすことは、東西變りたること無し。

◎英學生が獨逸語を自修するには、オット、若しくはコムフォルドの書に依ること誰も知る所なり、佛語を學はんとするは、オットの會話文典、其他これと同種のものにして、英と伊太利(Gardes Motti)露西亞(同)、西班牙(Pavia)などあり、又獨逸語より英語を學ぶべきもの(Gaspoy)、佛語を學ぶべきもの(Ott)等其他甚た多し。

◎邦語醫學生の獨逸語を自修せん爲めには、恩田、小林二氏醫藥高等獨逸讀本(二冊八十五錢)などいへるものあり、又有終會校刻の武氏局所解剖學(二冊各五十五錢)、武氏病理解剖學(二冊同上)、威氏診斷學全(一冊一圓)、克氏外科各論(五冊各五十五錢)、實氏内科各論(四冊同上)などあり、一應普通讀本を讀み了りて後、これに移るべし。

総べて已に専門智識あるものは、外國語の原書を讀むも、亦太た入り易きものあり。

◎佛語は、前記オット氏會話文典の外、曉星學校佛語初步、同中級佛語など用ゐる、邦語直譯のもの無きを以て、獨習には不便ありと知る可し、但し英、若しくは獨語を能くするものゝ爲めには、便宜多きのみならず、其の入ること太た容易なるを覺ゆ、普通初學用として行はるゝものは、右二書の外、Carreのlivre(數種有り)、S.M.のChoix de lectures françaises(七十錢)、LavisseのHistoire générale(四十五錢)、DuruyのPetite histoire des france(五十錢)、及びVoltaireのHistoire de Charles XII、FénelonのTélémaque(七十錢)の類。



◎荒木和一英和俗話法(四冊既刊各四十錢)は何人にも便利なるものなり、又英和字書の學生用として携帯に便するは、三省堂新譯英和辭典(六十八錢)、原書に於ては Chambers's 20th Century Dictionary. (一圓五十錢)又は Funk 及び Wagnell 氏 A Student Standard Dictionary (三圓五十錢) Webster 氏 Collegiate Dictionary (四圓二十五錢)など、本邦にて最も購ひ易きものあり、又熟語字典は、鄭其照氏 (Kwang ki chiu.) のあれども、非難も多き書あり、ダイクソン氏の Dictionary of Idiomatic English phrases は日本學生の爲めに編纂せるものなれば、これを備ふるを便とす、尙詳しく英語字典、及び英文法書の解題を知らんと欲せば「中等教育」(早稻田)第三、四兩號に掲げたりし佐久間信恭氏の文を見る可し。

○支那史研究の架上

- (1) Legge, J. The Chinese Classics. with a translation critical and exegetical notes, prolegomena and copious indexes.
- Vol. I. Confucian Analects, the Great Learning and the Doctrine of the mean.
- Vol. II The Works of Mencius.
- Vol. III The shoo king or the Book of Historical Documents, in 2 Parts.
- Vol. IV The She king or the Book of Poetry. in 2 Parts.
- Vol. V The Ch'un T'seu with the T'so-chuen, in 2 Parts.

- (2) Legge, J. The Sacred Books of China. (XVIXXVII. and XXVIII. of Sacred Books of the East.) The Texts of Confucianism.
- (3) ——— ditto. (XXXIX. and XL.) The Texts of Taoism
- (4) Couvreur (Le P. S. C., s. j.) Les Quatre Livres, avec un Commentaire abrégé en Chinois; une double traduction en Français et en Latin, et un Vocabulaire des Lettres et des Noms Propres.
- (5) Giles (Herbert A.) A Chinese Biographical Dictionary. 2 vols. This work contains lives of the most eminent Chinese Statesmen, Philosophers. Historians, Poets, Warriors. Travellers, Priests, Beauties, Eunuchs, and others from the Earliest Time down to the Present day. It also includes Biographical Notices of the Emperors and Empresses of the various Dynasties, in all about 2,000 Separate Articles.
- (6) Giles (Herbert A.) A History of Chinese Literature.
- (7) Bretschneider, E. Mediaeval Researches from Eastern Asiatic Sources. 2 vols. Fragments towards the knowledg of the Geography and History of Central and Western Asia from the 13th to 17th Century.
- (8) ——— On the knowledge Possesed by the Ancient Chinese of the Arabs and Arabian Colonies and other Western Countries, Mentioned in Chinese Books.
- (9) Lacouperie, T. Western Origin of the Early Chinese Civilization.

- (10) Gabelentz, G. Chinesische Grammatik. 2 vols.
- (11) Boulger, D. History of China. 2 vols.
- (12) Parker, E. H. A Thousand Years of the Tartars.
- (13) ——— China, Her History, Diplomacy and Commerce from the Earliest Times to the Present day.
- (14) Skrin, F. H. and Ross, E. D. The Heart of Asia. : A History of Russian Turkestan and the Central Asian Khanates from the Earliest Times.
- (15) Cordier, H. Bibliotheca Sinica. Dictionnaire Bibliographique des ouvrages relatifs à l'Empire Chinois. 2 vols.
- (16) ——— — Histoire des Relations de la Chine avec les Puissance Occidentales,

1860—1900 Being a record of the Political Intercourse of China With European Nations from the time of the Emperor T'oung T'che dawn to the present day.

- (17) Williams, S. W. The Middle Kingdom. 2 vols
- (18) ——— — The History of China.
- (19) Hannah, I. C. A Brief History of Eastern Asia.
- (20) Cahnn. Introdouction à l'Histoire de L'Asie: Turcs et mongols, des origines à 1405.
- (21) Chavannes. Les Memoires historiques de Se-ma-Ts'ien. 2vols.
- (22) Timkowski, G. Reise nach China duch die Mongolei in den Jahren 1820

und 1821.

- (23) Savage-Sandor, A. H. China and the Allies. 2vols.
- (24) Les missions Catholiques Françaises au XIX Siècles, publiées Sous la direction du Père J. B. Piolet, S. J., avec la collaboration de toutes les Sociétés de Missions. (新刊の第三卷支那の部)
- (25) Grosier. Histoire Général de la Chine, ou Annales de cet Empire; Traduites du Tong-Kien-Kang-Mou, Par le feu Père Joseph-Anne-Marie de Moyriac de Manila, Jésuite François, Missionnaire à Pékin. Publiées Par M. l'Abbé, Grosier, et dirigées Par M. le Roux des Hautesrayes. Conseiller-Lécteur du Roi, Professeur d'Arabe au Collège Poy alde France, Interprète de Sa Magesté Pour les Langues Orientales. Ouvrage enriché de Figures et de nouvelles Cartes Geographiques de la Chine ancienne et moderne, levées Par ordre du feu Empereur Kang-Hi, et gravées Pour la Première fois. 12 vols. (1777).
- (26) ——— Description Générale de la chine, ou Tableau de L'Etat Actuel de cet Empire.(1785)
- (27) ——— Mémoires Concernant L'Histoire, Les Sciences, Les Arts, Les Macurs, Les Usages, Ec. (1776) 15 vols.
- (28) ——— Faite Mémorables des Empereurs de la chine, Tirés des Annales Chinoises, Dédiés à Madame, Orné de 24 Estampes in 4°.

(29)

Abrégé Historique des Principaux Traits de la Vie de Confucius, Célèbre Philosophe Chinois, orné de 24 Estampes in 4°.

(30) Du Halde. Description Géographique, Historique, Chronologique, Politique et Physique de l'Empire de la Chine et de la Tartarie Chinoise. (1735) 4 vols.

此に挙げたるは、金風書庫中のものを主とし、其他類に依り推して重要なるものを挙げたるなり、然れども必ず此に盡きたるに非ざるを知る可し、又末段の數書は古版なれども現に持合の書肆無きに非されば、必ずしも得難からず。

58

59

### ○經濟學研究の棊

◎総べて一科の専門なる智識を得んには、先づ中等普通教育の素養無かるべからず、今日風氣大に開け翻譯書も日を追ふて出づると雖も、総べて學術に國境無きのみならず、經濟界の事は、何事も世界的にして、其の現象一として他國と關係を相爲さざるは無し故に外國語の一、若しくは二を知ることば、極めて必要なりと知る可し、今翻譯書につき、研究の棊を供す。

◎如何に言ふも、MILL 氏の Principles of Political Economy は十九世紀の大

著あり、故に此の一書を研究するは、經濟學を研究する全体ならざる迄も、やがて、其の過半あるべし、此の書、昔年林董氏の譯本ありたれば、早く邦人にも知られたり、今は天野氏譯(高等經濟現論)に従ふべし。

◎初めより前記高等經濟原論を讀むは、固より勞して功無きことなり、田尻氏經濟大意(五十錢)を讀み、濱野、伊勢兩氏、經濟學史(三十錢)、セボン氏著、大島氏譯貨幣說(四十錢)、土子氏外國爲替詳解(五十錢)、同銀行實務誌(六十錢)など讀み、扱後にミル氏のに移るべし、又天野氏譯キーン氏經濟學研究法(一圓)を讀み、阿部氏譯、イングラム氏哲理經濟學史(九十錢)、坂谷氏經濟學史講義(一圓)を讀

み、小池氏譯バヂョット英國金融事情を讀み、駒井氏經濟考徴、田尻氏公債論(一圓五十錢)、及び其の近著財政と金融を讀み、此の際又寺田、平塚二氏共著エーヒベルヒ氏財政原論(一圓)、大藏省譯、ポリュエー氏租稅論(二圓)、駒井氏歲計豫算論(一圓五十錢)を讀み、又天野氏譯コーン氏財政學(二圓五十錢)を讀む、次に又平田東助等譯ロツチャル氏商工經濟學(二圓五十錢)を讀み、餘力有らば石川氏譯アダムス富國論(二圓)を讀むべし、初めより論理學歸納法を簡明に説きたるもの(統計學理論のみにて可なり)あと旁修す可し。

## 大小議員の架上

地方議會、及び帝國議會の議員諸君より、必讀の書を問はれたること一再にして止まらず、今謹んで左に御答申候、十分精選致候心得に附、決して御熟讀被下不足は不可有と存候、邦語のみに限りたるは廣く通するを主としたる爲めあり。

○伊藤博文憲法義解 ○林田龜太郎衆議院議員選舉法釋義

○現行日本法令大全 ○第二十一統計年鑑

これ等は實用上已に御備置有る可しと信ず。

62

○田尻稻次郎財政と金融

これ堂々たる大議論にして、尋常の講義録の如くならず、必ず御一讀を煩はし候。

扱又

○獨逸人著 天野爲之譯 財政學

○英人著 井上、高野譯 財政學

を御序御すゝめ申候、次に

○獨逸商工勃興史

他の本もありたりと記憶せども、今は其の譯名、出版所思出さず候につき、此の書推薦致候

○佛ツモラン著大國民

この書又御覽被下候へば、不勘御感懐も可有之と存候、

○佛ホリユ一著露西亞帝國

是又御一讀被下度候、次には轉じて

○英ダイシ一著英國憲法論

英國憲法は近年我邦人に忘却せられたる如き姿と相成候得共、英は憲法の祖國に候、且近時邦人の憲法政治に於ける理想の没却は、大に患ふ可きこと、存候間、殊に此の書を御薦め申候。

○米マハン著海上權力史論

○佛ア、ド、ピツル著今世歐洲外交史

右は少々骨も折れ候得共、餘暇に御覽、首尾御通讀奉願候、

○佛ホリユ一著今世國家論

○同 今世國務論

右は古本屋に出て居候、又

○英シリ一著英國擴張史論

右の節譯かも知不申候へども、曾つて出てたりと記憶す、是亦書生などに命じ、古本屋御搜索被下度候、因に云く山縣氏内務卿時代翻譯出版せる有名なる「斯丁傳」は矢張此のシリ一教授の原著に候、「斯丁傳」も御序御求め可被下候、色々取り交へ、御迷惑と存候へども、御昵染甲斐に御宥恕可被下候、乍失禮、新刊の翻譯小説「聖人か盜



66  
賊か一部進上致候、折革靴の間に御挟み、御持歸り、燈下御一讀願  
上候。

67  
公民の文庫

◎地方の公人にして、必ず備へざるべからざるもの、

大日本史(活字本二十五冊代價八圓位)

史記評林(二十五冊、或は五十冊代價五圓位)

資治通鑑(鳳文館本七十冊、全七圓位)

日本外史(十二冊代價二圓位)

四書、及び五經

老子道德經

古事記傳(傳略にても可なり)

萬葉集略解(木版)

源氏物語湖月抄(同)

枕草子春曙抄(同、但し以上三種は活字本にても可  
つれく文段抄(同上)

般若心經

金剛經(自家の宗旨に依り用捨ある可し)

集義和書外書(熊澤蕃山著)

農政本論(佐藤信淵著)

康熙字典(石川鴻齋訓點、代價四圓八十錢)

言海(大槻文彦著二圓五十錢位)

吉田松陰傳(野史臺出版)

西國立志篇(數種の刊本あれども、活字本は博文館のもの)

福澤諭吉自傳(代價三十六錢)

農業本論(仁戸部稻造著、同一圓五十錢)

唐詩選評釋(森槐南著)

古今集遠鏡(本居宣長)

右は曾つて山形縣愛國翁の間に答へて、専ら古典を主とし、一二新  
著を加へ、代價合計五十圓の額内に於て、永久に家寶となるべきも  
のを選びたるなり、若し新著を取り、多少時務に交渉有るものを求

めば、

マハン氏海上權力史論(水交社譯)

プレッツ氏世界通史(和田萬吉譯)

ミューレル氏歐洲新政史(八尾出版)

ア、ド、ピツール氏近世歐洲外交史(早稻田叢書)

二千五百年史(竹越與三郎著)

近時政論考(陸實著)

又會つて何人も貯ふべき書として

一、日本辭書の良好なるもの(言海の外、法律・經濟・字典亦必要)

二、日本國民精神の淵源たるもの(古事記傳の類)

二、日本人名辭書(經濟雜誌社)

四、日本、及び萬國地圖

五、日本法令全書

六、統計書

七、重要なる法律の正しき解釋(梅氏民法要義の類)

八、維新革命の精神を了會し得べきもの(吉田松陰傳?)

九、日清戰役前後世界の大勢を知る可きもの(ア、ド、ピツール外交史)

一〇、新日本の國民精神を涵養すべきもの

一一、良好なる年代記(美甘某萬國歴史年鑑(一圓)にて間に合はすべし)

一二、漢字々引

- 一三、支那の歴史(御批資治通鑑(五圓位)にて足れり)  
一四、支那近時の著作(經世文新篇の類)

## 一若婦人の手匣

- ◎高等小學校卒業したるのみの妻を如何に教育し行くべきやなどの  
問に屢々接し、又高等女學校卒業後、何を讀むべきやの問に接した  
ることありき、今前者を標準として、此に若婦人の手匣を草す。
- ◎高等女學校程度の教育を施すの目的にて、歴史、地理、國文など  
課し、及ぶべくは外國語をも授く、これ他日、母たらん後、兒童  
の讀書を助くる準備として必要なればなり。
- ◎日本歴史は、三上、高津二氏合著にほんれさし教科書(七十錢)、東

洋史は坪井九馬三氏同教科書九十五錢、西洋史坪井氏の分未完なれば、小川氏のをと擇ぶべし、兎角婦人は外國歴史など好まぬものなれども、つとめて讀ましめ、外國固有名詞など、正しく記憶せしむべし、餘り乾燥に陥る如き患あらば、清麗なる小説など讀ましむべし、一葉全集、及び岩本嘉志子譯小公子、露伴いさな捕さくの濱松、外は多く禁じて耽らざらしむ、古今集遠鏡にて歌意を解しつゝ、且古歌を誦誦せしめ百人一首は鈴木弘恭の解など、徒然草は文段抄青山清七刻、枕草子は春曙抄同上を課すべし、婦女子は兎角、その理想の淺々しきものにて、邪まに解釋して害を受け易きものなり、注意して、古のみやびの精神、風尚を理會せ

しむべし、又徳富蘆花名婦鑑二十五錢など讀む、又物理化學、及び、數學を學ばしむ(用書は必ずしも選擇せず)、博物書など、好みて讀ましめ、時々標本など作らしむ、又た理科の應用を知らしめ家事經濟の素を養はしむ、かくて漸く上達しなば、簡易なる教育學、心理學など習はしめ、兒童心理など學ばしむ、ヘルキヒ氏兒童心理學、テラー氏兒童心理及び研究法、コムペール氏兒童心理學、トレンシー氏同など、色々あり、なべて學問とは、向内と、外界とを問はず、省察、及び觀察に在るを以て、常に何等か研究の精神を失はしむべからず、扱女子の倫理は、貞操を教ゆるは勿論なるが、社會の義務を知り、神を敬し人を愛するの道を學ばし

むるを第一として、痛く其短所を救はざるべからず、娘妹など教  
育せんものは、務めて身を先んじて、慈善を教へ、日常の行事よ  
り、公正の心と、共同の義務とを學ばしむべし、而も女子の傲ひ  
得る所の慈善は、多くは感情的にして、非組織的なるものなり、  
或は又甚しく功利的なるものなり、常に社會、國家の關係、組織  
をも知らしめざるべからず、且今の中流の女子にして、其の父兄  
たり、良人たるものが、社會に於ける位置、其の思想、目的をも  
辨知せざるもの多し。故に又近世國家の大勢、及び社會改善の方  
嚮等を知らしめ置くを要す、扱又家事經理の小冊子には、

後開 佐方 兩女合著家事教科書(九十錢)

同 家庭簿記法(二十八錢)

又は藤尾錄朗氏家計簿記法(二十錢)

同 例題(十錢)

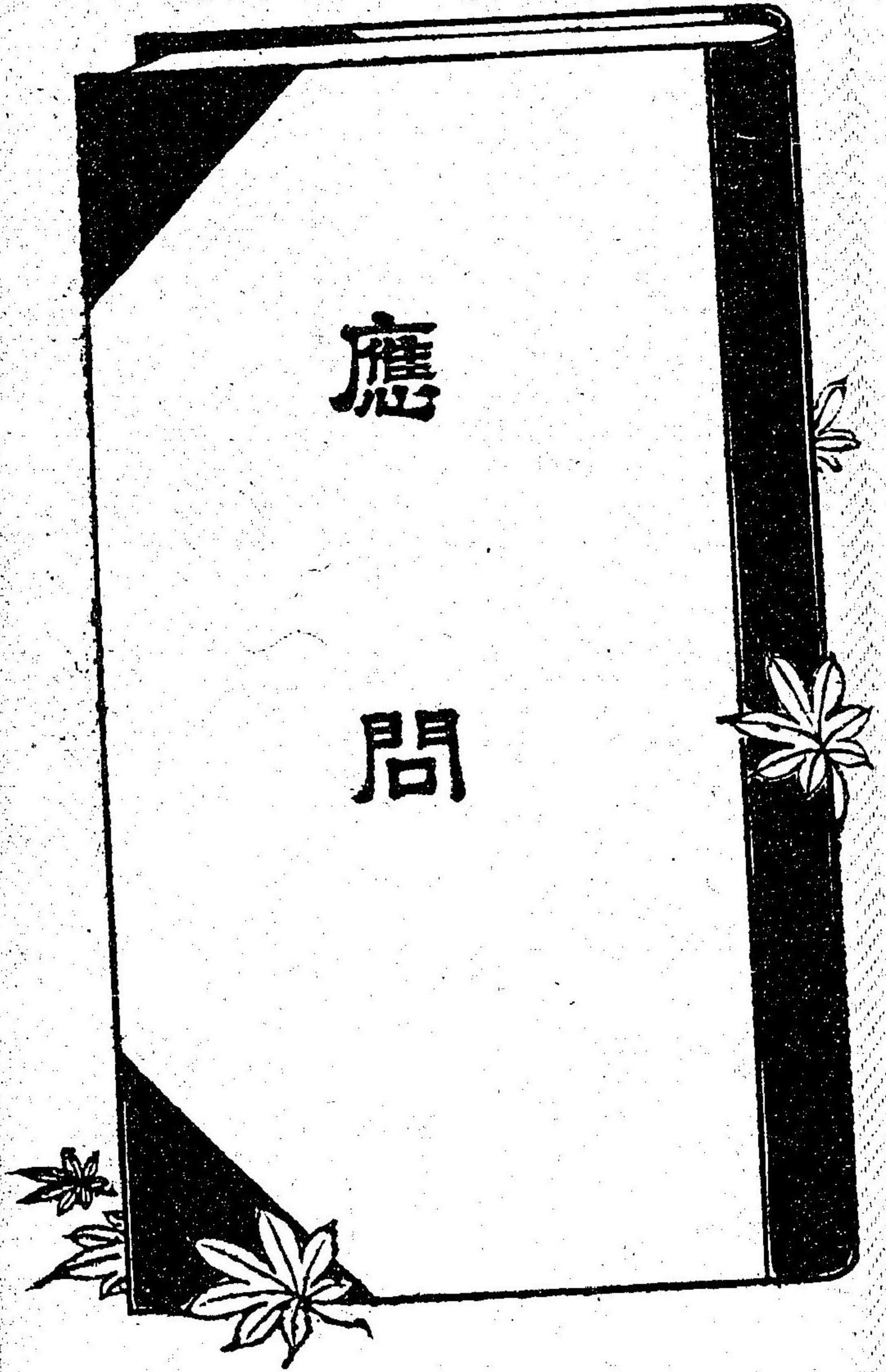
三宅秀氏 家事衛生(六十錢)

三島通良氏母の務(七十五錢)

赤十字社看護學教程(一圓)

嵩山堂實地製造化學(一圓四十錢)

附言家事經濟は多く應用化學を言ふ、婦女子の理化學思想の乏し  
く、且家事經濟の意を誤りて、卑吝同等の交際に、残忍(眼下の  
の)に對し、是れ家事經濟と爲すものあり、慎しむべし。



古塚何代物。  
上有筆頭菜。

女兒拾翠行。  
下有蒲公英。

那  
茄

應

問

◎ 財政及び豫算 拙生這回豫算委員の一人に當選せり、參考書として如何なるものが適當なるべきや、(新代議士)

◎ 駒井重格氏歳計豫算論、田尻稻次郎氏公債論、及び大藏省譯ボリ  
ユ一氏租稅論等可然、其の外寺田氏譯エーヒベルロ氏財政原論、  
バステープル氏財政學等邦譯財政學書の大著とす、是等の書に依  
り一般財政の理論を知る時は事に臨みて大に益有り、此の外田尻  
氏財政と金融(第五版)及び田口、谷二氏地租増否論を讀み時弊を知



る可し、

◎佛語の獨修 小生は中學校にて英語を修めたる後、今日實業に従事するものなるが、取引上佛語の必要を感じ、獨修せんとす、如何なる書に依るべきや、(横濱エス、デー)

◎語學の獨修は六ヶしけれど、オット氏英佛會話文典(一圓二十錢)、又は曉星學校佛語初步(七十錢)を用ゐる日夕誦すべし。

◎鑛山の探見 僕は一個の苦學生なるが、山河を跋渉して鑛山、又は炭山を發見せんとす、如何なる書を讀みて、相當の智識を得可きや、(神田生)

◎佐藤信淵の山相秘書と云へるものあり、昔時の山相家といふものは、皆此の書にて養はれたるものなり、今日のものには地質圖(全國にては十五葉四圓五十錢、説明一冊一圓六十錢)、及び地質學、鑛物學等の書を見る可し、

◎畫家傳記 日本畫人の傳記を集めたるもの之れ無きや、(審美生)

◎扶桑名畫傳は、信州須坂城主堀直格侯の撰述したるものにして、徳川時代に於ける大著作中の一に擧げらるゝものあり、今は哲學書院印行の活字本有り(四圓八十錢)、稍簡明なるは古筆了仲の右に同名の書(一圓八十錢)、又狩野壽信の日本畫家人名字書(九十五錢)有り、

◎即興詩人 森鷗外譯の即興詩人の原書、及び著者御教示被下度候、

◎アンダアセン氏 Der Improvisator として Reclam 叢書中のもの、一部四十錢にて求めらるべし、

◎法律 私は仕事の餘暇に、字を習ひ度、今迄色々の本を讀みまし  
た、又或る中學會の講義録を見ました、なれとも諸科目の講義中  
の文が讀めず、夜學にても通はんと思へとも、仕事の都合にて外  
出叶はず、ボンヤリして、當年二十歳迄暮しました、(中略)法學を  
學び度目的に候云々(大和町涌澤)

◎深く同情を表します、しかし法學は斷念可爲致、現在の職業に接  
近する側に於て、立身の途を求むべし、工藝等可然候、

◎小學教員 赤貧に付處世法として小學教員たらんと欲す、試験豫備  
の講義録の出版所御教示被下度候、(淺草愛讀生)

◎赤貧なる程幸福なるは無し、處世法として、小學教員たらんとす  
とは不遜なり、かゝる傲慢なる言語は、苟にも發すべきものに非  
らず、師範學校に入れば學資を要せずして卒業するを得、

◎中學程度の歴史 中學程度の餘り簡單ならざる日本、西洋、東洋、及  
び德川時代史著者、代價御教授に預り度候、(エツキス生)

◎勝浦氏皇國史要(二冊七十五錢)桑原氏、中等東洋史(二冊一圓)、箕作  
外一氏西洋史綱、同要解、同參照圖畫、德川氏は内藤耻叟氏德川  
十五代史(十二冊二圓二十五錢)は德川實記の抄録本にして、慥かな

るものゝれども、讀みて面白きものに非らず、

◎俗曲 俗曲研究に要する古書を問ふ、(同人)

◎先づ聲曲類纂(六冊一圓二三十錢)を求めよ、俗曲中の何たるかを記し送らば、更に答ふべし、

◎官職 國文國史中の官職、及び幕府の官制を知らんとするに、最も解り易き書名、(國文生)

◎近頃出版ありし和田英松氏官職通解は、大寶令以來、徳川時代までの官職を釋したるものにして、初學には適當のものなり、普通のことば、これにて事足るべし、専門に研究せん志あらば別に答ふべし、

◎和漢醫史 和漢名醫の略傳、及和漢醫學の一斑を記したるもの(石堂)

◎富士川氏皇國醫事年表(全一冊七十五錢)有り、又黒川道祐本朝醫考(三冊)は上は大己貴命より、足利の末までの人々を挙げ、本朝醫書目録、及び故實、并に藥名などを挙げたり、古本屋に屢出づることあり、

◎支那語 小生は晝間殆んど暇無きものあるが、夜間支那語を獨習せんぞす、何書に依るべきや、(ケーエム)

◎語學は獨修し得べきものに非らず、萬障を排して就學すべし、宮嶋大八氏支那語獨習書(五十五錢)あれども成效疑ふべし、

◎速記術 速記術獨習書の良好あるもの、(奇々齋生)

◎速記も亦獨修し得べき性質のものに非らず、

◎色彩 色彩の調和、對比、排列に關する邦語の書、(芝工業生)

◎水繪具誌(三十五錢)と題する小冊子賞用せらる、

◎鑛山 北海道、及び各府縣にて鑛山採掘の許可を得居る現今の總數、及び人名を詳記したるもの、御教示被下度候、(青森愛讀生)

◎鑛山局編纂の鑛山特許一覽(一圓三十五錢)、真に御詔向と云ふべきものあり、

◎小田原征伐 豊公小田原征伐に關する事實を知らんとするには、何書に依る可きや、(小石川好史郎)

◎三浦淨心北條五代記(史籍集覽本、七十五錢)、及び中村徳五郎小田

原征討史(三十三錢)

◎養鷄養蜂 家禽、殊に養鷄、養蜂熱心のものに候が、これに要する

良好の書名御教示被下度候、(北總愛讀生)  
◎本田氏養鷄學(四十五錢)、玉利氏密蜂改良説(同上)を宜しとす、但しかゝる事業は、之を讀みて一般の性質、及び理論を知る必要あるは勿論なれども、又よく着實に實驗して、自ら會得する所無かるべからず、全く他力安心を書籍に托すべからず、

◎萬國地理 萬國地理書の最も詳細なるもの、(邦語)、書名、出版所、代價御教示被下度候(小石川愛讀生)

◎詳細といふにも程度あることなり、日本に地理學者無し、従つて

最も詳細なる地理書といふもの無し、

◎女訓 父がかたみの五圓を以て、好紀念、且有益なる書籍相求め度、父は豫ねて比賣鑑、女大學等を必讀の書として教へくれ候位の、申さば頑固の方に候らひき、されば此度の書籍も、可成ハイカラ的ならぬを求め申度、妾事は年は十八、高等小學校卒業のものに有之候、(有明女史)

◎必ずしも女訓、女教と名のつかすとも、源氏物語湖月抄活字本帙入一圓五十錢位、八代集抄吉川半七活字本三圓五十錢の二を御求め被下べし、

◎現存畫家 日本現時の畫家氏名傳記を集めたる書冊あらば云々(大圖

知新生)

◎前年共進會出品者の氏名、略傳を寄せたるものありしも、市上に出づる程のものに非らず、金錢強請とかの悪評有りし某書の外、類似のもの見當らず、但し狩野氏人名字書(前出)中には、現在大家の名も見ゆ、

◎刑法 小生は刑法大意と、裁判所構成法を獨習致度、何れの人か書に依りて可然乎、(上田壽生)

◎岡田氏、又は古賀氏のは好評あれども、刑法改正遠からざるを以て、新版無し、多くは賣切中なる可し、後者は歴史的、又は比較的に研究せんには兎も角、然らざれば左程難解のものとも思はれ

ず、如何、

◎醫術 私は内務省醫術開業試験を受け度者に有之候が、前期は獨修にて可出來哉、又如何ある書に依るべきや(千葉山本生)

◎心掛次第にて出來得ざるに非らず、山田氏蘭氏生理學(三冊五圓二十錢)、飯盛氏物理學(三冊三圓九十錢)、丹波氏無機化學(二冊二圓五十錢)、同有機化學(同上)等、普通採用せらる、

◎英語及び算術 小生業務の餘暇に英語、及び算術を獨修せんと欲す云々(堀留澤井)

◎可成夜間ありとも師に就くを宜しとす、獨修は數倍の勞苦有りて成效至難なるものあり、英語は先づ讀本直譯を讀本と共に求め、

數卷を獨習するも可なり、算術は上野氏算術講義錄(六十錢)

◎生理及び診斷學 近來生理學、及び診斷學參考書を求めんと欲す、譯書にては如何なるもの適當なりや(シー、エム)

◎蘭氏生理學(三冊五圓九十錢)、ベルツ氏診斷學(二冊三圓四十錢)

◎海運 小生は或店の小僧なるが、將來海運事業を以て立身せんとす、何書を讀むべきや(神田一少年)

◎海運と題する書もあれども、先づ貿易のこと、地理のこと、輸送に關する法律を知る目的にて、同文館實用商業全書中の第二、第三兩篇(各二十五錢)を讀むべし、

◎西洋史 文部省中等教員檢定課目中、西洋歴史科の受験參考書、及

ひ英語獨習講義録、若しくは教科書を問ふ、(希望生)

◎英語を講義録にて獨修せんとする人に、西洋歴史の中等教員出來べき理無し、假令へ僥倖にして試験に及第するも、前途危険といはざる可からず、

◎電氣取締法

電氣事業に關する取締規則は、何書に在りや、

(鳥取一讀者)

◎博文館其他の現行法令全書中に在り、同書は総べて世に立ちて事業を成さんとする程の人には、必ず一部を備ふべきものとす、

◎梵語

梵語を獨修し得る方法を問ふ、(四谷春梅生)

◎ウキリヤム氏 Sanskrit Manual に依る可し、但しサンスクリット語は

頗る入り難し、巴利語より入るを便とすといふ、

◎陶器

我邦の陶器業の沿革、及び製陶家の傳記、製品についての批評記載ある書名、及び陶器に關係ある化學書御教示被下度候、

(羽後川口生)

◎工藝志料(一圓)、又は横井氏日本工業史(七十錢)、又陶器考證(六冊一圓三十錢)有り、末段は博文館陶器製造化學(一冊六十錢)、英文のにて簡明なるものは、ポーンズ、ライブラリー中の陶器譜

◎篆刻

篆刻に要する書名、及び印譜を集めたるもの買入度、如何なるもの可然哉、(陸中石島谷生)

◎篆刻鍼度(二圓五十錢)日本橋通一丁目青木嵩山堂出版のものあり、

印譜は木版覆刻のものもあれど、篆刻の手本とするには、正しきものを選ばざれば甲斐なかるべし、但し單に体裁を見るのみは此の限りに非らず、

◎石鹼製造 石鹼を製造せんとするに、器械、及び藥品配合等初心者  
に解し易き書名を問ふ、(岩代熱心生)

◎松永氏化粧品製造法(一冊二十五錢)、又は青木嵩山堂實地製造化學  
第四編(一冊四十錢)

◎地理科教員 私儀地理科の中等教員檢定試験に應せんとす、如何なる  
書籍講義録を讀みて可なるや、(獨學生)

◎英語を能くするや、獨語を能くするやを記し再び質問せよ、

◎言海 言海とは如何なる書籍に御座候哉、(名古屋希望生)

◎大槻文彦氏の著にして、日本普通語の字書として最良のものなり、

◎音樂 簡易なる音樂の理論、及び音樂獨習の書、并に唱歌集御教  
示を乞ふ(早稻田學生)

◎How to Listen to Music (二圓七十五錢)、及びこれと同様の音樂書、  
What is Good Music 又は How Music Developed の如き九善に數種あり、  
唱歌集は、The Academy Song-Book for in Schools and Colleges. の如き、其  
他多くあり、

◎時文 日々新聞紙を讀む毎に、壯快を感じ大に敬服致候、文章を  
學ぶべき良參考書御教示被下度候、(大磯獨想生)



◎政治なり、經濟、法律、一科専門の智識を研くべし、學問内に充つれば、文章は學ばずして自ら出て來るものあり、

◎和歌及び新体詩

私事和歌、及び新体詩を獨習せんとす、如何なる手段に依るべき哉、御示教を煩はす、(上總希望生)

◎何事も根柢無しに出て來るものに非らず、新派と舊派と、將た新体詩とを問はず、先づ古今集、遠鏡(活版本にては二冊十五六錢のものあり)、及び萬葉佳調(古本)又は、萬葉集略解にて古歌を譜誦し、且研究すべし、

◎中學科

小生は中學科程を獨習せんとす、最も親切なる講義録御指定奉願候(常陸長岡生)

◎中學程度の學科は決して獨習し得るものに非らず、講義録もあれども、右様の事情故指授せざるべし、萬障を排して就學せよ、

◎渡米 學生の渡米に對する好案内書、御手数から御取調被下度候、(千葉チーエス生)

◎一柳某といへる人の渡米の契(一冊三十錢)可然候、

◎陽明學 陽明學の學粹ともいふべきもの御教示奉願候、(静岡王山生)

◎王陽明全集(王文成公全集ともいふ三圓位)は無點なれば讀み難きやも知れず、但し陽明學は必ずしも書を読みたるのみにては、學習の甲斐無し、因に云く學粹とは何の義なりや、解し難し、

◎社會主義を簡短に學ぶべき書名を問ふ、(水戸栗林生)

◎森山氏新舊社會主義(二十四錢)を一讀せよ、但し社會主義は先づ一般の經濟學、及び社會學を學びたる上に於てせざれば、了解し難きのみならず、甚しき誤謬に陥る可し、

◎新聞 本年中學校を卒業したる後、新聞記者たる準備をなさんとす、如何ある方法を取るべきや、(常陸熟望生)

◎政治、經濟、法律の一科と、外國語とを學ぶべし、然らずして地方の新聞などに入るものは、一生を過るものと知るべし、

◎獨逸語 獨逸語を研究致度も、師に就くを得ず、初學者に適する順序よき獨案内御教示を乞ふ、(神田愛讀生)

◎語學の獨習は斷じて效無きものなり、已むを得ずんば牛込區市谷

仲町獨逸學雜誌社の講義録に依るべし、

◎自治機關 小生は郡、縣會議員を兼ねるものなり、自治機關の原理を説きたる書名御教示奉願候、(越中一人)

◎有賀氏行政學(全二冊三圓)を熟讀せよ、但し同書は自治機關の原理とかを説きたるものには非らず、右に并せて美濃部氏府縣制郡制要義(全一冊一圓)を讀むべし、附言今日の郡縣は純然たる自治團體に非らず、

◎英語 山間にて英語を獨修せんとなす、如何にせば可なるや、幾年にして原書を讀み得べきや、(はかなき生)

◎刻苦して持久せば何事も成就するものあり、失望する勿れ、リ

ダーの直譯を、リーダーと共に購ひ二三冊讀み、イーストレーキ會話文法るとにて發音を工夫せば、正則に話す能はさるは勿論をれども、次第に文章を理會するに至るものあり、

◎西洋史 英語にて西洋歴史を調ぶるには如何なる本を擇ぶべきや、但しパーレー氏、及びスキントン氏萬國史は既に之れを讀めり、

(下野鈴木生)

◎パーレーや、スキントンの萬國史を讀みたるのみにては、何の役にも立たず、先づ英語を學ぶべし、専門の智識を得んには、普通學の基礎が最も必要なるものあり、又試みにフキッシャー氏萬國史を讀め、

◎神代史 日本古代史、殊に神代史を研究するに、口碑傳記に非らずして、理論的に記述したるものを讀みたし、如何なる書籍至當なるべきや、(土佐古典生)

◎口碑傳説に依らずしては、理論は立たざることあり、先づ口碑傳説を讀み、且解することを學ぶべし、本居氏古事記傳、及び橋氏稜威之區別等を精讀すべし、

◎獸醫學 獸醫學研究に要する書籍御教示被下度候、(山口愛讀生)

◎勝島氏家畜內科學(三冊三圓十錢)、田中氏同外科學(一冊五十錢)、岸本氏診斷學(一冊一圓二十錢)等、

◎藥劑學 藥劑師試験を受けんとす、如何なる書に依るべきや、

◎高松氏化學教科書(二冊一圓二十錢)、下山氏生藥學(二冊二圓五十錢)同製藥化學(三冊三圓十五錢)、小林氏調劑術講本(一冊一圓五十錢)等とす、通信教授もあれども、書籍は講義録よりは入り難しと雖も取捨しつゝ、讀む時は遙に學力を養ひ得べし、

◎公民 高等小學校卒業後、町村に於ける一級民の資格有る遺産を相續せり、商業の爲め通學の餘暇無し、他日の修養と成る可き書籍御選定被下度候、(安房恩愛生)

◎中村正直譯西國立志篇(博文館再版のもの製本最も可なり)、穗積氏憲法大意(四十錢)の外、地理、歴史の書を讀むべし、

◎心理學及び倫理學 心理學、倫理學の英書の平明なるもの一二、及び英語は多少讀み得るも、譯書と原書と、いつれに依るを速成とするや、(岳南生)

◎譯書に依るは速成あるべけれど、進んで研究せんとするに、常に人後に落つへし、殊に心理學の如き、倫理學の如き世界的のものは、世界語を知らざれば、忽ち差支を生すべし、故に譯書の良好あるものを選び講究しつゝ、英語を學びて、自然に原書を用ゐる様をし行くを最も智慧有る方法とす、邦語にて智識を得たる後は原書も從つて讀み易ければなり、Green 氏 Prolegomena of Ethics 及び Dewey 氏 Psychology の類を御求めあれ、

○裁縫 吳服賣として、尤も必要あるは和服の裁ち方あるも、之れを教ゆる良書無之困難致居候、御教示被下度候、(下野吳服小僧)

○岩瀬氏裁縫道しるべ(五十五錢)

○東京府下郡部地圖詳細なるもの何か宜しきや、(希望生)

○參謀本部切圖、同地圖店にて求むべし、

○染色 染色家専用の辭書、及び染物に關する參考書御伺申上候、

(淺草一染師)

○丸善出版の染料辭書(三圓)、同化學工業書第三冊(一圓三十錢)

○日本歴史 日本歴史の稍詳細にして、趣味有るもの、但し史學的をらすとも宜し、右御教示被下度候、(大阪讀書生)

○竹越氏二千五百年史(一圓五十錢)

○英文 十年前に英學の普通程度相修め、爾來商業に従事致居候處頃日取引上の必要より、英文獨習致度、適當なる方法、及び書籍

御教示被下度候、(橫濱季種生)

○十年前にも素養たにあれば容易あり、且語學は境遇に依りて進歩するもの故、山中にての獨學は六ヶしけれども、日常必要に迫まらるゝ間に在りては、意外に速成するものなり、誰のにても宜し會話書を求め、諳誦することを務むべし、二十世紀日英會話(四十錢)等輕便とす、

○經濟學史、銀論行 經濟學史、財政學、銀行論に關する好著、但し翻譯

に非らず、邦人の著述のもの、(獨學生)

◎特に著述に限りたるは如何なる故あるを知らず、名は著述と云ふも其の實は纂譯あるをや、濱田、伊勢、兩氏經濟學史(三十錢)、餘り良きものとも覺ゆず、田島氏最近財政學(一圓五十五錢)、田尻氏銀行論(一圓)

◎書帖 現今大家の揮毫せる日本畫を集めたる帖名を問ふ(小池生)

◎玉章畫集(二圓五十錢)、雅邦全集(六十錢)、景年花鳥畫譜(六圓四十錢) 月耕畫纂(二圓二十五錢)、右いつれも清玩に供すべし、

◎戯曲 小生戯曲の研究に志す久し、其の材料を承知し居らず云々 右御教示被下度候、(愛讀者)

◎單に戯曲の研究とのみにては解らざれども、先づ早稻田の講義録を以て一般文學、及び戯曲の何たるかを知り、篁村氏の巢林子撰注(一冊一圓)を併せ讀むべし、

◎俳句 俳句を初心より學ぶに、如何なる書に依頼すべきや、 (札幌愛讀生)

◎新聲社俳句新叢(一冊三十錢、三冊出版)適當あるべし、

◎日本畫 小生常に繪畫を學ばんと欲するも良師無く、田舎書店に見當らず、何か宜しきや、御教示被下度候、(陸中梅村生)

◎日本畫の栞(木田寛栗)などにて準備方を知り、玉章習畫百題(五冊一圓五十五錢)を一冊つゝ順次買求め學ぶべし、

◎養鷄 田舎に蟄居し養鷄法を心得んとす、何書可然哉御伺申上候

(相卓生)

◎本田幸介養鷄學(四十五錢)

◎國語漢文 小生は本年二十五歳、幼より家貧にして仕立職に従事罷在候得共何分天性に適せぬ職にて、怠惰中、俄然學問の貴きを知り、斷然職業を抛棄し、一竟勉學に志し候へ共、如何せん無教育の爲め、書を繙くも、文章を解するに苦しみ、現に專修學校理財學科に通學中に有之候へ共、自今退學、専ら捷徑を取り、國語漢文を修業致さんと考居候につき、獨學として如何ある書より始め候方、適當に候哉、小生は今後職業を營まざるも、生活し得る途

相附き候、(麻布晚學生)

◎御來示は十分同情を表し候、國語漢文は却つて困難に候、今日幸に勉學の機會と、餘資とを得られ候上からは、實用有る學問可爲致候、理財といひ、文學といふ如き精神に屬するものは、晚學のものには適せず候、何か文明的の技藝を修め候へ、築地の工手學校なり、淺草工業學校の選科なり、又は水産學校なりにて、一ツ有用の技藝を學び候事、一身のため、國家の爲め深く御勧め申上候、

◎日本歴史 私儀早や年も取り居り候得共、いまだ日本の歴史少しも知らず、誠に耻しく、何の本を以て委しくわかり易く、學び得る

御教示被下度候、(横濱くま子)

◎三上參次氏に<sup>●</sup>は<sup>●</sup>ん<sup>●</sup>れ<sup>●</sup>さ<sup>●</sup>し<sup>●</sup>教<sup>●</sup>授<sup>●</sup>書<sup>●</sup>(三冊九十錢)と申すもの有之候、是れは、曾つて閣龍博覽會の際、皇后陛下の御思召にて彼國人に日本歴史の貴きことを知らしむる目的にて、英文にて出版したるもの、原本なり、平易なる國文にて、体裁良く記したるものあれば至極適當と存候、尙御讀了の俊は、他のもの選擇可申上候間、無遠慮再應御問合可被下候、

◎亞弗利加地理 英語にて記せる亞弗利加の地理書、及び地圖の最も詳細なるもの御手数ながら御教示被下度候、(淺草有志生)

◎アフリカあるか、アメリカなるか、亞弗利加とあれども、念の爲

め注意し置く、扱アフリカあれば、局部探險の書もあれども、一般のものあれば、ジョンストンのものにて大小數種有り、適宜選擇すべし、又スタンフォルド地誌提要の中、亞弗利加部(二冊十六七圓)にては如何、地圖、插畫等十分有り、

◎廢娼問題 小生學業の餘暇、廢娼問題につき研究致度、何分その材料に乏しく候、遊廓の起原、沿革、及び是等に關する参考書御教示被下度候、(本郷露骨)

◎學生は先づ、かゝる問題に遠かり居るべし、扱芳原の起原など記したるものあれども、廢娼問題上何等の價值無し、ニューヨーク商業會議所の調査報告あるThe Social Evil(一冊三圓)は昨年出版のも



や、のにして、本問題の好参考書とす、

◎工業及び商業政策 工業經濟、及び商業政策研究の参考書(邦語)定價等  
御教示被下度候、(神田工學生)

◎商業政策とは國家の政策のことなりや、將た商業家としての手腕  
を意味するにや、後者ならば、書籍に依るも、畑の水練あるべし  
尤も實業家の傳記など読み、その公正の精神、堅忍不拔の志操を  
と學ぶの必要は勿論あり、前者に在りとせば、ロッシェル氏商工經  
濟學(二冊二圓五十錢)

◎和漢故事 和漢の故事を詳しく解釋したる書名、及び歴史上著名の  
人物の記傳を集めたるものは何々なるべきや(エヌ、テイ生)

◎需用者の程度に依ることなから、國史便覽(一圓五十錢)にて、兩者  
共一應間に合ふべし、

◎日蓮 小生は日蓮を研究しつゝあり、日蓮を知るには如何なる書  
に依るべきや、(蘇我野生)

◎一般の佛教史、及び鎌倉時代史を知り、後に日蓮の著書を読むべ  
し、安正立國論(三四十錢のものあり)は誰も知る所なるが、報恩抄  
及び開目抄、觀心本尊抄、撰時抄の五を重要なる著書とす、昨年  
より祖書の縮刷を企つるものあり、廉價にて頒附する筈なり、

◎染色 綿糸染色工學は、自宅にて獨習し得べきや、得べしとすれ  
ば、その書名を問ふ、(本所エヌ、テイ生)

◎別項にもあり、實地染色新法(一冊二十五錢)を見、尙實地經驗工夫を要す、

◎測量 少々土地所有致候爲め、測量術の必要相生ト云々、如何なる書にて學ぶべきや、(越中蠣波生)

◎金子助次郎普通測量術講義(三十五錢)を入門として、河合氏測量學(二圓)

◎殖民、及び政治學史 小生殖民に關する歴史、及び古代希臘より政治の變遷を記したるものは何ありや、(仙古エスケー生)

◎一般殖民の歴史は The History of Colonization from the Earliest Times the Present Day. (Morris) 代價八圓、後者は政治史なりや、將た政學史あり

や、政治學史なれば、World politics. (Reinsch) あり、代價三圓、

◎法律 現今法律社會に好評ある憲法、民法、行政法、刑法の解釋書、町村役場員の自宅獨習上必讀のもの御教示被下度候、

(福井愛讀生)

◎民法は梅氏の要義(五冊八圓五十錢)は理解し易し、岡松氏理由(三冊三圓二十五錢)は良書なれども、實用向には、却りて前者を宜しとす、有賀長雄氏國法學(二冊三圓)、同氏帝國憲法講義(一冊一圓四十錢)等

◎國語辭書 小生國語の研究仕度云々如何なる辭書を宜しとするや、

(神都生)

◎和訓栞(三冊八圓位)、又は雅言集覽(木版活版不揃なり)なれば最も可  
なれども、普通語なれば、大槻氏言海(二圓五十錢位)を可とす、  
◎文學 余は内村鑑三氏の所謂大文學あるものを學びたく思ふ、何  
書が宜しかるべきや、而して西洋には大文學の著書ありといふ、  
何書を読むべきや、クリスマス、カロールとは何を書けるものなり  
や、バイブル、天路歷程とは如何なる書ぞ、余は之れを愛讀した  
く思ふ、(信州波猛生)

◎世界文學を読むには、世界語たる英語を知るを要す、バイブルの  
何たるやを知らぬ黄口兒は、未だ文學を語るべき資格無し、去り  
て謹教に中小學教育を受くるを要す、

◎微分積分 小生は職工に候が、苦學すること茲に數年、數學を專攻  
致度、何分微分積分の自修的良書御指定被下度候、(京橋變屈生)

◎長澤氏初等微分積分學(二冊一圓)可あるべし、附言、何も數學を修  
むればとて、強て變屈にゐるに及はず、十分精神を快活、且公正  
和平にして勉強すべし、

◎地方制度 地方制度、殊に茨城縣の地方制度を研究するに至當の書  
名御教示被下度候、(本郷愛讀生)

◎美濃部氏府縣郡制要義(一圓)を宜しとす、町村制の注釋は絶版なる  
が多し、但し茨城縣とて特別の制度は無し、令達は水戸市の書林  
に問合はす時は、其の重要なるものを集めたる一冊物を購ひ得可

し、古代制度に關してなれば更に質問可し、

◎速記 速記術を獨修せんとす、何といへる書に依るべきや、

(廻町無職業者)

◎速記術は決して獨修し得べきものにあらず、獨修書といふものあれども、單に符號と形式を知るのみ、

◎佛教 佛教の史的發展、日本佛教史の名著、經典、及び經典の梗概、日本現在各宗の綱領を説きたるもの、(徳島佛敎生)

◎井上哲次郎氏釋迦牟尼傳、姉崎正治氏印度宗教史考(一冊一圓八十錢)、又經典の梗概を説きたるものは閱藏知津(古本)、現在佛教の綱領は各宗綱要(一圓)、佛教を修めんとするものは、八宗綱要、起信

論、十住心論にて、これが概念を作り、進んでは天台四教義、華嚴五教章、俱舍論、唯識述記等を讀むべし、

◎算術 算術全躰を獨習し得べき書、及び代數、幾何の初學に適する書名御伺申上候、(上總夕浪)

◎上野清算術講義錄一冊六十錢、同初等代數講義錄(九十錢)、平面幾何通解(八十錢)

◎後期醫術 前期試験に及第し、後期書籍代五十圓の贈與を得たり、近來多く用ゐらるゝ書名、婦人科、法醫學、耳鼻咽喉科共良書御教示被下度候、(龍崎生)

◎ペルツ氏内科學(五冊六圓八十錢)、費氏診斷學(一冊二圓八十錢)、山

崎氏病理總論講義(三冊三圓六十錢)、智兒漫氏外科總論(三冊四圓二十錢)、同各論七冊(七圓七十錢)、婦人科準繩、河本氏眼科學(三冊四圓八十錢)、法醫學提綱(九冊六圓)、賀古氏耳科新書(一圓三十錢)、

○園碁 園碁獨修の良師たる書名(愛讀生)

○方圓社園碁新法(二冊)、其外種々あり、近時博文館亦園碁書數種を出版しつゝあり、

○生理 生理學の中等教員たらしむるに適當なる書名を問ふ、

(京都テーパー)

○山田良叔氏蘭氏生理學(三冊五圓八十錢)、今田東氏解剖學(同四圓九十錢)ハイツマン氏解剖圖(一冊三圓七十錢)、外に衛生學書を読みべし

但し中學校の生理學教員は、多くは博物科教員の兼ねる所あるを以て、單獨に生理學を修めたるのみにては、雇口少かるべし、

○漢字典 漢字々引の良好なるものは何なるべきや、(名古屋城四生)

○鳳文館康熙字典(四圓位)は現今博文館にて發賣せり、専門に學術的に言へば兎に角、普通は康熙字典にて足れり、

○露語 露語の獨修には何を用ゐるべきや、(北越寒生)

○Motti氏 Russian Conversation Grammar. (二圓五十錢)、又はグレーポフ氏

露西亞文法(一圓七十五錢)、後者は殊に便なるべし、

○梵語 佛書を読むも梵語の意義を知らず、梵語文典の書名、及び代價を問ふ、(函館臥中生)

◎佛書を讀むには左程梵語の必要あり、翻譯名義集(新舊數本あり)あれば輕便なり、枳橋易士集は稍集大成の觀あれども、抄傳本の外哲學館講義録に、曾つて附録として出したるのみ、但し漢釋經典を離れて、サンスクリット語を學ばんとせば別項ウキリヤム氏の Samskrit Manual、(丸善)

◎進化論 ダアヴィン氏進化論を譯したるものありや、(早稻田生)

◎經濟雜誌社出版生物始源(一圓五十錢)

◎人名字書 外國人名辭書は何といふものありや、(牛込生)

◎現存の人名なりや否や、不明、Men and Women of the Time. (15th Edition, Revised and Brought down to the Present Time. (九圓)此外種々あり、

◎假名手本 平假名が下手で困り入候、如何なる手本を習ふべきや、(愛讀生)

◎貫之古今集帖到る處に在り、

◎數學 數學科檢定試験を受けんとす、必讀書目を問ふ、(葉山某)

◎藤澤利喜太郎氏數學教授法講義(九十錢)

◎經濟學 經濟學を研究せんとす、但し普通學力有り、(大阪城東生)

◎天野氏高等經濟原論(一圓七十五錢)を研究し、貨幣論、外國爲替論 銀行論等各科を學ぶべし、先づ右原論を詳讀せよ、

◎水彩畫 水彩畫を學ばんとす、如何なる手本によるべきや、

(本郷畫好生)

◎粉本に依るの不可なるは各家の均しく口にする所あり、先づ室内の静物より寫生し初め、後に戶外に出て樹木、雲水、風景を寫すべし、丸善には稍、佳良なる英國の水繪手本あれども、これすら不可とする所あり、況んや日本版のものをや、

◎德川時代

德川時代社會の風俗を知るべき書名(木風山人)

◎かゝることは一冊の書籍にて知らるべきに非ざれども、平出氏日本風俗史を一讀したる後、近松、西鶴、馬琴、京傳、春水等の小説院本、併に蜀山、六樹園等の書により知り得べきあり、

◎公民

毎年小學校に年始祝として、若干の圖書を寄附する例あり

今年は如何なるものを求め、教員參考用として贈與すべきや、

(陸奥黒石生)

◎酒井氏譯アドビヅール今世歐洲外交史(三圓五十錢)、慶應義塾譯ツモラン氏大國民の類、教育書といふに非らされども、國民精神を  
作興する所以に於て、學校必備の書とす、

◎陽明學

陽明學の大意を領會するには如何なる書に依るべきや、

(南陽生)

◎三宅雄次郎氏王陽明(哲學書院出版)を讀み、此に佐藤一齋言志錄、大鹽平八郎洗心洞劄記等を併せ看、又建部遜吾陸象山(哲學書院)をも讀むべし、(別項參照)

◎習字 文部省習字科檢定試験に應せんとす、如何なる手本を學ぶべきや、又都下にて何人に就きて學ぶべきや、(愛讀生)

◎師に就くに及ばず、顔真卿、柳公權の佳良ある法帖を得て學ぶべし、法帖は摹刻の新舊、又は場所に依り非常の高低有るが故に、若干なりと指教し難し、但し坊間に行はるゝものは太た廉あるものあり、

◎獨逸語 醫學生にして獨逸語を學ばんとするも、文學書は艱澁にして困難なり、如何可致哉、(武洋生)

◎湯島切通南江堂に有終會出版の醫書の原文に、譯文を附けたるもの數種有り、威氏診斷學(一圓)、實氏內科學(全四冊、一冊五十五錢)

武氏病理解剖學(二冊一圓十錢)、克氏外科各論(全五冊、一冊五十五錢)の類、是れあり、是等に依り獨修し得可し、必ずしも文學書を讀まじ、

◎哲學史 英文の哲學史を求めんと欲す、何か宜しかるべきや、  
(哲學研究生)

◎自家の學力の程度と囊底の都合にも由ることあるが、Windelbondのそれは好評有り(九圓五十錢)、又Weber氏同(八圓)、

◎草分衣 紅葉山人譯草分衣の原書は何といふや、(山口イブシロ生)

◎レンシングのMima Von Barnehelmにして、レンクレンム叢書中のもの十錢にて求めらる、



◎衛生學 衛生學についての詳細明確なる書御教示を乞ふ、(芝醫學生)

◎小池、森二氏衛生學講本(二圓九十錢)

◎英、又は佛文の財政學の名著、日本の財政史、古來よりの財政家の事蹟を記せる書名を問ふ、(札幌如漂生)

◎Cohn氏 Finance. 又日本の財政史といふべきものあらざれども、勝海舟の晩年の著に徳川末路の財政を知るべきものあり、大日本貨幣史、及び租税史は吉田氏のもの、其他尙有り、

◎機關士 機關士試験を受けんとす、参考書御教示を乞ふ、

(浦賀一海員)

◎船舶機關手試験問答(一圓八十錢)

◎支那史 英文にて支那歴史は如何なるもの宜しきや、(北海生)

◎新刊の簡明なるはドーグラス氏支那史(ストリー、オブ、チーシヨンス中のもの)、二圓五十錢、又 Boninger の支那史(十二圓)

◎西班牙語 大學に在るものあるが、西班牙語を自修せんとす、何といへる獨案内有りや、(應化生)

◎普通世に行はるゝオット氏會話文典と同種のものにて、英西、佛西、獨西望み次第有り、

◎美學 英文美學の簡明なる書名御教示被下度候、(早稻田生)

◎Knaghit 氏 The Philosophy of Beautiful. (一圓七十五錢)

◎料理 家庭の楽しみを増さんが爲め料理法を稽古致度、何書か可

然哉、不案内の爲め困居候云々、(本郷新婚女)

◎日本料理は治庖會日本料理法(四十五錢)、洋食は丸善の西洋料理法(三十五錢)共に蕪雜ならずして適當なるべし、折角御稽古御樂しみ候へ、

◎英語 英語の熟學字書の廉あるものは何と申候哉、(小石川實問生)

◎支那人鄭氏の熟語字典、又はデクソン氏の同字典、後者は殊に日本學生の爲めに著はしたるものゝれば、尤も宜しかるべし、

◎獵犬 獵犬の飼養法、及び治療法を記したるもの、書名を問ふ、  
(芝生)

◎英文あれば種々あり、和文にては獵友俱樂部出版の狩獵全書、及

び丸善出版の家畜治療全書

◎齒科醫術 齒科醫希望につき、右豫修書名御教示被下度候、

(麻布黄帽子)

◎手術、及び治全術の如き、實修を要する故、獨習は如何あらん、書籍は高山齒科汎論(一圓五十錢)、小島原齒科病理各論(三圓)、高山齒科手術論(一圓八十錢)、同治金學(二圓)

◎禮式 西洋禮式習慣の心得となるべき寸珍本の書名を問ふ、  
(大坂渡米生)

◎十文字商會出版の勿と題する小冊子、

◎普通文官 普通文官試験に應ずるには如何なる書を読まざるべから

ざるや、(邦語生)

◎ 中學程度の普通學の素養あれば足れり、行政法、地方制度等の大意は兼修を要す、

◎ 百科字典 英文百科辭書の至廉にして便宜なるものは何なりや、

(岡山旭水生)

◎ ナツタル百科熟語字書は九善にて特約販賣の爲め、非常の廉價をれども(一圓三十五錢)、左程有益のものど云ふことを得ず、

◎ 英文學史 英文學の變遷を記したる良書を問ふ、(三田小文生)

◎ 文學史のことありや、テーム氏英文學史の英譯のもの、本邦にて翻刻したる廉價のものあり、

◎ 支那哲學 支那哲學の起原沿革を知るべき好著は何なりや、

(神田崇山生)

◎ 組織的に記述したるもの無し、狩野良知氏支那哲學史(吉川半七出版)は專書に非れども一讀に値す、外に早稻田の講義録中松本氏支那哲學史あれど、良著といふを得ず、小柳司氣太宋學概論は片々たる小冊子あれども、却つて宜し、金港堂支那哲學史あり、又博文館にも同名のものあり、極めて劣悪、

◎ 萬國史 ラグニス及びランポー二氏の萬國史の原名、及び代價を問ふ、(横濱敵愾生)

◎ Histoire Generale にして、全部十二冊、一冊二十法、

- ◎園藝 植物の移植、及び接木の法を知るべき書名、(武藏香洋)
- ◎福羽氏果樹栽培全書(四冊一圓)、但し單に移植、及び接木を知るには高橋氏園藝學(三十五錢)にて足る、
- ◎清學史 法學や説史の日本文のもの無之候哉、(島根ケ、エツチ生)
- ◎無し、鳩山氏譯メン氏古代法(五六十錢)、及び羅馬法(戸水氏、渡邊氏等種々あり)を読み、又萬法精理(モンデスキュー)、法理學(オースチン)等を読みれば法律發達の大要を知るを得可し、但し民法、刑法國際法等の各種特別なる沿革については、該法律の稍浩瀚なる注疏を見て知る可し、
- ◎地文、地圖 中學五年級地文學教科書、及び西洋歴史地圖は何を用

- ゐるべきや、(本郷受験生)
- ◎横山氏地文學(一圓十錢)、フリンマン歴史地圖(七八十錢)、但し中學校にて何を用ゐつゝありやは、該學校規則書を貰受けて驗す可し、
- ◎佛敎史 佛文にて佛敎史ありや、あらば書名、
- ◎Kern, H. 氏 Histoire du Bouddhisme de ns l'Inde 和蘭文より翻譯せしもの  
上野圖書館の新着書中に見えたり、
- ◎漢詩 漢詩を學ばんとす、如何なる順序に依るべきや、(北越熱心生)
- ◎先づ唐詩選の講義を聞き、これを誦讀し、且清朝廿四家詩抄の類をも併せて誦讀すべし、作ることを學ぶよりは、先づ古人の作を

多く讀むべきものあり、

◎養蠶 妾事蠶業に従事致度、如何なる書籍に依り自習可然候哉、

(千葉好蠶女)

◎佐々木忠次郎氏養蠶講話録(二十錢)、又は松永氏養蠶講義(四十錢)を讀み、少量を飼ひ試みるべし、或は規則立ちたる養蠶場の手助をなし、一二次實習するを最も安全とす、

◎高等文官 目下縣廳學務課に出勤罷在候處、高等文官試験に應ずるの準備致度、其の方法御教示被下度候、(福島小官吏)

◎法律學校(いづれの學校も大同小異)の行政科講義録を讀み、尙餘暇に外國語を學ぶべし、外國語は直接試験に必要無きも、追々外國

原書を讀む能はざれば、就官後差支あるのみならず、僥倖にして試験に及第するも、採用成らざるべし、

◎歴史地圖 小生はフイツシャ、及びウキルソン萬國史を讀了候、

目下マコーレー英國史を讀み居るものあるが、地圖にては地理の關係甚た不分明、ついでには英國歴史地圖、及び萬國歴史地圖何が宜しく候哉、御教示を願度候、(神田二六生)

◎フリーマン歴史地圖は簡明にして廉かり、附言歴史專修の目的をりや、然らば別に御指示可申上、又英國史も、マコーレーの讀むは、何の點よりなりや、

◎英語 大倉書店英語研究話法、スワン氏英語教授法、英語三ヶ月

卒業書は初學者自修に必要、且有益なりや、(茨城醒川生)

◎スワン氏のは英語教師に必要なのみ、他は知らず、

◎釀造 醬油釀造に關する參考書御教示下被度候、(下總愛讀生)

◎奧村外一氏釀造學總論(一圓三十錢)

◎罐詰 魚鳥肉罐詰法を記したる書名を問ふ、(北見鮭生)

◎片野氏罐詰製造法(三十二錢)

◎文學批評法 文學批評法、及び文豪傳は何といふものありや、

(大阪研究生)

◎Winchester氏 Principles of Literary Criticism. 又後者は English Men of Letters  
(一圓五十錢宛中、又は Great Writers (一圓七十五錢宛)中より必要の

人物のを選び取るべし、

◎祝詞 神前に捧讀する祝詞を集めたるもの、及び祝詞作法を學ぶ  
べきものを問ふ、(北海道夕張松舎)

◎平田氏祝詞略解(一圓)、及び祝詞初學(六十五錢)共に小石川大門町青  
山の出版とす、

◎小説家、及び文界的智識 小説家たるべき準備はいかに、又世界的智識な  
るものは、其の原書に依らずして、譯書に依るは効無きや、

(伊勢孤劍生)

◎小説家たらんとするには、先づ一般の文學についての概念を作る  
こと、小説の何たるやを知ること、古今の小説を多讀することは是

れなり、早稻田の文・學・科・講・義・録・可・な・り・と・す、後者は世界語とも云ふべき英語を知るを最も捷徑とす、

◎ 氣象 氣象發現の原由、變化の狀態、及び其の觀測方法につき、解し易き様、丁寧に説明したる最近出版の邦文書籍、代價共御示し被下度候、(豆南觀測)

◎ 岡田氏近世氣象學(三十五錢)、中川氏天氣豫報論(一圓五十錢)

◎ 英米風俗 英米の人情風俗制度を研究するに宜しき、最も精細ある好著述御報導被下度候、(本郷二六生)

◎ 此の如きことは、普ねく其邦の歴史、文學、政治、法律等に涉りて、後に知るべきものにして、一冊の書籍を讀みて、直に研究し

得たりと云ふとを得ざるものなり、Social Englandの如き必讀とす、

◎ 上海 上海の商工業、乃至生活の狀態、或は景況を知るべき書名御指教被下度候、(小倉少年談話俱樂部)

◎ ガイドブックに依るを便となせども、邦文のには無し、旅行記などに概見するのみ、

◎ 理化學 原書を讀む素養無き故、専ら邦文の書籍に依り物理、化學の中等教員試験を受けんとす、如何なる書籍に依るべきや、

(鹿兒島長缺生)

◎ 獨習は六ヶしかるべし、東京物理學校雜誌は机上必ず備ふべきものとす、又原書は極めて入り易し、萬障を排して就學するを要す

- ◎煉瓦 八年前より陶器製造をなし、主として藥掛ヶ瓦の製造を爲し來り、原料の粘土豊富にして、且火力に耐へ得る良質なるも、鼠色、又は淺黄色等の雜色を呈し一定せず云々、斯業研究に資する良書、併せて斯道の熟煉家御指示被下度候、(山口陶器生)
- ◎書籍を讀みたるのみにては無効なるべし、博文館にて發賣せる煉瓦と題する武藏榛澤なる有名なる煉瓦會社の經驗を記したるものあり、一讀あるべし、竈等に關しては田邊博士公式工事必携(二圓)
- ◎師範學校 自分儀尋常師範學校入學試験に應せんどす、如何なる書を學びて可なりや、(越後獨學生)
- ◎高等小學卒業者なれば、容易く入學を得、

- ◎漆器 生は漆器商に候處、久しく漆と蒔繪に關する書物を尋ね候へども、見當らず、科學上、及び實習上の良書御教示被下度候、(大阪麗池生)
- ◎かゝる著書は無し、以て日本漆工の非學術的なるを知る可し、
- ◎辨論 法學生にして辨論を鍊るに論理學書を讀むは助けとなるべきや、又若し然りとせば、其の簡明なるもの、(一法生)
- ◎論理學とは辨論の法を教ゆるものに非らずして、思想の構成を正確にするの術なり、中島力造論理撮要(六十五錢)、
- ◎文學 初學者の和歌、新体詩、漢詩、俳句を獨習する良法御教示被下度候、(福井鈴木生)



◎かく一時に何も彼も學び得るものに非らざれども、普通中等教育を卒ひたる後、早稻田の講義録等に由るを可とす、普通教育無き中に、あせるに及はず、

◎宗教及び易學 宗教、及び易學に関する書籍は何れの書店が宜しく候哉御教示被下度候、(兩國阪本講宗生)

◎いづれの書店と限りたるに非されども、漠として宗教とのみにては解らず、又易學といふものト筈は信するに足るものに非らず、  
◎文章 文章の作法詳しく説明したる書名御教示被下度候、

(深川好文生)

◎神田西小川町二丁目日本文章學院講義録は可ならん、委細は同所

へ問合はされよ、

◎水彩畫 私事水彩畫を自習致居候へども、其の法則を心得ず、右に關する書籍御教示被下度候、(小石川海舟)

◎大下氏水彩畫の槩(二十錢)、

◎珠算 珠算獨習致度も、少しも心得ず、何れの書籍宜しく候哉、  
(十二万の一人)

◎誰れにても就きて問ふを宜しとす、田中氏珠算教科畫(六十錢)、

◎談話 他人と談話するに拙劣なり、如何にして早く上達すべきや  
何卒良書御指教被下度奉希望候、(中學卒業生)

◎實地に習熟するより外無し、但し吃りは年頃の青年の多く發する

ものにて、或る悪習より来る、その匡正法(十錢)は賀古鶴所氏の著にして、青年の一讀すべきものなり、

◎洋書帖 洋書帖の餘り高價ならすして、机上の清玩に供すべきものは、何なりや、(水戸好美生)

◎チーシヨンス、ピクチュアスの合本、又は月刊同誌(一冊五十錢)は彩色摺りにして、原書を彷彿するに足る、此の外年刊のサロンド目録等、

◎倫理彙編 井上哲次郎氏外一名の日本倫理彙編は、廣告の如く價値有るものなりや、(高師生)

◎日本倫理學說の史的研究には無くてならぬものなり、勿論珍書の

みを集めたるに非らされば、中には木版原本より高價に當る部分も無さに非らされども、彼れが如く取揃へたるもの故、便利ある可し、好出版物たるを失はず、

◎文章軌範 漢文を研究致度、文章軌範は讀みて益有るものに候哉、(三田生)

◎益無きに非されども、今は餘りに爛熟に失して、寧ろ害有りとせざるべからず、

◎萬葉集 萬葉集を讀むには何といへる注釋書を宜しとするや、(尙古生)

◎橘氏の略解は普通にして求め易し、且解釋は概ね穩健なり、尙專

門に語學、又は歌學の史的研究には、契沖の代匠記(早稻田出版)を始め、眞淵の萬葉考(全部の解に非らず)等を読む可し、鹿持雅澄の古義(木版、活版兩種有り)は良説多し、此の外此の集研究の詳しき沿革、及び分科は長井金風萬葉評釋といへる小冊子の上半に在り

◎文章 漢文直譯躰、及び歐文直躰の文章の模範とあるべき書籍御精選御教示被下度候、(豊橋好學殿女)

◎三宅雪嶺眞善美日本人(古來、同我觀小景同上)、徳富蘇峰の雜著種々民友社より出てたるものあり、好みに従ひ取るべし、

◎韓語及び寫眞術 韓語寫眞術とを學び度、右良書御教示被下度候、

(本郷風生)

◎語學の獨修は効無きこと何國語に限らずと知る可し、鳥井氏實用韓國語(五十錢)、小川一眞譯光線並寫眞化學(一圓)、但し實用向のものには尙多くあり、

◎傳記 尾崎行雄氏、經世偉勳と題せる舊著は、何を書けるものにて、著書なりや、譯書なりや、(神戸すね生)

◎ピーコンスフキルド侯の傳にして、尾崎氏の著述ありしと記憶す但し今日取り出て、言ふべき程のものに非らず、夙に絶版せるのみならず、往々大道に二三錢にて出づることあり、

◎死亡統計 日本人の死亡に關する統計書名、編輯者、及び賣捌所御教示被下度候、(大阪土佐堀生)

- ◎統計集誌に出でたることあり、同社に號數を問合はすべし、
- ◎國際公法 佛文にて國際公法の近時最も有力なるもの御教示被下  
度候(神田愛讀生)
- ◎Pradier Fodéré の Traite de droit international Public Européen et Américain の如  
き、Calvo 氏の Le droit international Public et Privé の如き共に有名の大  
著とす、
- ◎鐵 小生は軍隊生活中に起臥するものなるが、鐵の性質、及び炭  
素、砒素、硅素、硫黃、燐、滿俺、銅の鐵に及ぼす化學上の作用  
を研究致度、如何なる書籍にて宜しく候哉、(ヒーアイ生)
- ◎一般化學及び鑛物書の外、向井哲吉(海軍造兵大博士)の簡易製鐵術

- (二圓)といふものあり、質問者の質問以外から参考の爲め紹介し  
置く、
- ◎製紙 小生は製紙職工に御座候、諸機械の名稱、就中製紙器械の  
名稱を網羅したるポケットブック様のもの無之候哉、(嶽南製紙生)
- ◎袖珍機械工師必携(二圓)は各種機械工師の必携のものとす、書中の  
要項は船用、陸用、復式、三職成蒸氣機關一切、及び其の附屬諸  
器械細目、各種蒸氣々罐、機關車、蒸氣の性質、同膨脹、水力、  
水力機唧筒、各種水車の切率、水道鐵管、深及び桁の強度、鋼煉  
鑄鐵類、及び日本木材の強弱重量、工場用車輛軸承、調革、調繩  
の強度齒輪連法、其他圖表なり、

- ◎ 技手 小生業務の餘暇苦學して、機關工學を勉強し技手たらんとす、適當の教科書御指示被下度候、(鐵工生)
- ◎ 獨習は固より出來ない相談なから、先づ製圖、及び數學等の獨學し得べきものを始むべし、
- ◎ 政治經濟 多少の素養有るもの、政治、及び經濟を研究せんとす、如何なる書籍を學ぶべきや、(大阪三餘生)
- ◎ 講義録の入り易きことは承知あるべし、書籍は天野氏高等經濟原論(前出)、田尻氏財政と金融(第五版を用ゐるべし)、有賀氏國法學の類、
- ◎ 建築 建築設計見積法と、同製圖とを將來の必要の爲め修めんと

- 欲す、如何なる書籍を宜しとするや、(みなつくし生)
- ◎ 平瀬氏用器書法(全六冊各十八錢宛)を學び、又中村氏建築學階梯(全四冊三圓五十錢)を學ぶべし、
- ◎ 露國 露西亞研究に必要な英書御指示被下度候、(早稻田生)
- ◎ ヘンリー、ノルマン氏の All the Russia(十圓)は近頃好評噴々たり、此の外ポーリュー氏のは日英兩譯有り、
- ◎ 法學通論 法學通論は精讀を要すべき書なりや、(千葉獨學生)
- ◎ 試験課目に無さを以て、往々疎略にするものあれども、其の實最初に於て、精讀すべきものとす、
- ◎ 通商 日本と列國、及び其の殖民地圖との商業關係の現況を知る

に便なる書物の一二御指示に與かりたし、(獨東生)

◎最新統計年鑑と、通商彙纂(每號)とを見る可し、

◎日本文典、及び書引熟語字典の比較的完全なるもの御教示被下度候、(聞學生)

◎大槻氏廣日本文典、及び同別記、後者は無し、

◎中村敬字 小生は西國立志篇の譯者敬字先生の人物を十分に知り申さず候が、如何なる書籍に、先生の傳出て居り候哉、(エル、エー生)

◎此の人の傳記未だ世に出でず候へども、親しく先生に親炙したるもの澤山御座候間、御尋ね可然候、同人社文學雜誌に先生の文章澤山出て居り候、同雜誌は上野圖書館に在り、

◎東洋史 日本文の中學以上に用ゐる東洋歴史御教示被下度候、(越後清田生)

◎桑原氏中等東洋史、又は坪井氏東洋歴史(文學社)等を宜しとす、尤もこれのみにては物足らざるは必定なれば、漢文、又は英文のものをも求めざるべからず、

◎東洋地理 中等教員歴史科受験志望にて日本及び東洋歴史研究中なれども、是等研究上必要なる地理學、及び地圖不明につき、其

の書名、及び代價等御教示被下度候、(青森晚學生)  
◎支那のは、禹貢錐指、通鑑地理今釋、及び讀史方輿紀要、西域は漢西域考、其他蒙古游牧記、元朝秘史、同山川地名考、西遊記等

縮刷のものあり、これに Parker 氏 A Thous and Years of the Tartars. (鞏  
 韃一千年史)、Shrine, and Ross 兩氏 The Heart of Asia 等を併せ讀むべし  
 印度は Cunningham 氏の Ancient Geography of India 朝鮮は東國輿地勝覽等  
 以上或は質問者の境遇に切ならざるものあるべけれど、自ら買ひ  
 求め難きは圖書館にても頼るべきを思ひて、殊に擧げたるのみ、  
 地理専門なれば別に尙多く有り、

◎林學 林學を志し第二高等學校に入りしも、病氣にて退學せり、  
 獨力研究せんとす、造林及び地質土壤學の要書御教示被下度候、

(相南エヌテ生)

◎本多靜六造林學(二圓)、志賀泰山森林經理論(八十錢)、及び本多氏日

本植物帶論(四十錢)

◎新聞記者 新聞記者たるを求む、就ては新聞記者養成の學校有之候  
 哉、又は獨修には如何なる書が宜しく候哉、(濱松放浪子)

◎帝國大學、又は早稻田專門學校は皆新聞記者養成に適す、一二の  
 書を讀みて記者たる能はず、政治、經濟等一科の學を修むべし、

◎植物採集 植物採集に適當なる參考書、繁簡何れども御教へ被下度  
 候、(岩手種峰樵夫)

◎三好學氏の中學植物學の附録の採集法を一讀し、扱必携のものは  
 全氏植物自然分科一覽表(十五錢)、松村氏改正植物名彙(二圓)等、但  
 し採集に必要といふに非らず、

◎裁縫 妾の住所は僻陬の寒村なれば、裁縫の良師に乏しく困居候

何卒獨習の書名御伺申上候、(埼玉田舎女)

◎谷田部順子裁縫教科書

◎英和辭書 中學三四級に適當なる英和辭書御教示被下度候、

(越後高田生)

◎三省堂新譯英和辭典(六十八錢)、但し中學卒業以上にも適當す、

◎英文 ナショナルリーダー第三を終はりしもの、如何なる英文小説が面白く御座候哉、(麻布英學生)

◎小説など思ひも寄らず、先づ専心に課業を勉強すべし、

◎叙事文 叙事文の模範とあるべき古人今人の名著數種(漢文時文共)

を舉示せられたし、(小石川文學生)

◎金聖嘆評水滸傳を讀み看よ、

◎文學史 邦文、又は英文の西洋文學史、世界文學史の詳細なるもの、支那文學年表、(神田新讀者)

◎一冊の書物にて、かゝるもの、詳しく知るべきもの世界上有るべき筈無し、眞に研究せんと欲せば、尙忠實に問へ、後者亦無し、

◎公民 小生は本年二十五歳高等小學を卒業せしのみ者に御座候處、餘暇勉強せんと存候へども、其の書の選擇に苦しみ居候云々學問と申しても、人の守るべき常道より、世務に老け申すべき心得承知致候へば十分に有之候、(赤阪泥愚坊)



◎中村敬宇譯西國立志篇、

◎地圖 近來出版の萬國地圖にて、價二圓以下の、世に名あるもの  
御教示被下度候(福島東北生)

◎フキリップ袖珍世界地圖(九善、特價一圓五十錢)

◎日本史 大日本史を藏するも、此の歴史以下の事を知らんとする  
には何書に依るべきや、(香雪生)

◎日本野史は、大日本史に接續くべきものなり、  
◎建築學 有名なる建築學語彙は何なりや、(青森望洋生)

◎Violet-le-Duc 氏 Dictionnaire Raisonné de l'Architecture

◎日本の醫史を見るに、曩に貴教の本朝醫考は己に讀み了りたり、

に何を見るべきや、(木石生)

◎大同類略抄(今存するもの一巻)、醫略抄、捧心方、新增補遺捧心方  
醫學天正記、同續の類を御搜索あれ、其外本朝醫談、及び皇國名  
醫傳等、

◎社會主義 現行の社會主義の歴史、及び状態を知るべき、日本、及  
び、英文の書名、一二御教示被下度候、(本郷愛讀生)

◎森山氏譯新舊社會主義(一圓三十錢) Dawson, Wm. 氏 German Socialism (一  
圓二十五錢) 及び Ely 氏 French and German Socialism in Modern Times (一圓  
六十錢)

◎印度哲學 ッパアニシヤットの英、又は佛譯書、及び印度哲學同の書の

書名、及び代價を問ふ、(吠陀生)

◎東方聖書の卷一、及び卷十六 The Upanishads. (五圓二十五錢宛、同卷、三十四、及び三十八、四十八、 The Vedanta-Sutras. (六圓二十五錢宛)

◎會社 合資會社組織に付、及び本件に對し必要の書籍承知仕度御明示奉願候、(本所吉川菜)

◎自治館會社法實用詳解(一圓十錢)にて十分と存候、若し少しく理論的に知らんと欲せば、志田氏會社法(七十錢)なれども、實用には前者却つて宜しかるべし、

◎系圖 伊藤博文、及び星亨の系圖を記したる書名を問ふ、

(秋田エーエン生)

◎系圖は知らず、維新史、及び明治の政史を見れば彼等出生の所以を知り得べし、

# 讀書の禁

おぼり

倫理學、教育學、歷史、地理學  
研究法は再版の際増補す可し

# 應問索引

▲哲學 東洋哲學、心理 倫理  
美術 宗教

- ◎陽明學……………頁一九、四七、
- ◎佛教……………四〇、
- ◎心理學及び倫理學……………五、
- ◎哲學史……………四九、
- ◎美學……………五一、
- ◎支那哲學……………五、
- ◎佛教史……………七、
- ◎宗教及易學……………六、

- ◎倫理彙編……………六六
- ◎印度哲史……………八三

▲歷史、及び地理 傳記、人名字書

- ◎畫家傳記……………美術ヲ見ヨ
- ◎官職……………六
- ◎中學程度の歴史……………五
- ◎和漢醫史……………醫學ヲ見ヨ
- ◎萬國地理……………九
- ◎現存畫家……………美術ヲ見ヨ
- ◎小田原征伐……………八
- ◎西洋史……………一三、三

- ◎神代史……………三
- ◎地理教員……………六
- ◎經濟學史……………經濟ヲ見ヨ
- ◎日本歴史……………六、三、八
- ◎亞弗利加地理……………三
- ◎人名字書……………四
- ◎日蓮……………五
- ◎政治學史……………政治ヲ見ヨ
- ◎徳川時代……………興
- ◎哲學史……………哲學ヲ見ヨ
- ◎支那史……………五
- ◎萬國史……………五
- ◎法學史……………法律ヲ見ヨ

- ◎ 地文…………… 六、
- ◎ 地圖…………… 六、八、
- ◎ 佛教史…………… 宗教ヲ見ヨ
- ◎ 歷史地圖…………… 五、
- ◎ 上海…………… 雜ヲ見ヨ
- ◎ 傳記…………… 七、
- ◎ 中村敬宇…………… 六、
- ◎ 文學史…………… 文學ヲ見ヨ
- ◎ 東洋史…………… 七、
- ◎ 東洋地理…………… 七、
- ◎ 系圖…………… 三、

▲ 政治、法律、經濟、財政

統計、社會學、社會主義、

- ◎ 財政及豫算…………… 一、五、
- ◎ 法律…………… 四、七、
- ◎ 官職…………… 歷史ヲ見ヨ
- ◎ 自治機關…………… 三、
- ◎ 經濟學史及銀行論…………… 七、
- ◎ 廢娼問題…………… 三、
- ◎ 工業、及ビ商業政策…………… 四、
- ◎ 殖民、及ビ政治學史…………… 六、
- ◎ 地方制度…………… 六、
- ◎ 經濟學…………… 四、
- ◎ 法學史…………… 六、
- ◎ 英米風俗…………… 三、
- ◎ 高等文官…………… 雜ヲ見ヨ

- ◎死亡統計……………七一
- ◎國際公法……………七二
- ◎政治經濟……………七四
- ◎法學通論……………七五
- ◎憲國……………七五
- ◎通商……………七五
- ◎普通文官……………雜子見目
- ◎公民……………四、四六、八、
- ◎新聞記者……………雜子見目
- ◎社會主義……………一、八三、
- ◎會社……………八三、

▲國語、漢文 和歌、新體詩、俳句、

- ◎言海……………一七、
- ◎時文……………一七、
- ◎俳句……………一七、
- ◎國語漢文……………一七、
- ◎漢字典……………一七、
- ◎和漢故事……………一七、
- ◎國語字書……………一七、
- ◎漢詩……………一七、
- ◎祝詞……………一七、
- ◎文章軌範……………一七、
- ◎萬葉集……………一七、
- ◎日本文典……………一七、

▲理學、博物、工學、農林、獸醫、數學

- ◎鑛山の發見……………二八
- ◎養徳養峰……………八三〇
- ◎陶器……………一五
- ◎石鹼製造……………二六
- ◎色彩……………美術子見ヨ
- ◎獸醫學……………三
- ◎染色……………美、五
- ◎算術……………四
- ◎數學……………四
- ◎測量……………美
- ◎微分積分……………元

- ◎進化論……………四、雜子見ヨ
- ◎獵犬……………美
- ◎園藝……………六
- ◎養蠶……………六
- ◎氣象……………六
- ◎理化學……………六
- ◎煉瓦……………六
- ◎漆器……………六
- ◎珠算……………七
- ◎織……………七
- ◎製紙……………七
- ◎技手……………七
- ◎建築……………七、八

- ◎植物採集.....六
- ◎林學.....六

▲文學、美術 國語漢文參照

- ◎即興詩人.....三
- ◎詩家傳記.....三
- ◎俗曲.....六
- ◎現存詩家.....一〇
- ◎色彩.....七
- ◎篆刻.....一六
- ◎音樂.....一七
- ◎畫帖.....一六
- ◎戲曲.....一六

- ◎日本畫.....二六
- ◎假名手本.....一四
- ◎水彩畫.....一六
- ◎習字.....一六
- ◎草分衣.....一六
- ◎裝幀.....哲學手見
- ◎英文學史.....一四
- ◎文學批評法.....一六
- ◎文章.....一六
- ◎洋書帖.....一六
- ◎小說家.....一六
- ◎文學.....一六
- ◎國學文.....一六



◎文學史.....六二

▲醫學 生理、藥劑

◎和漢歷史.....五八二

◎醫術.....一〇、三三

◎生理及診斷.....三三、四三

◎藥劑學.....二四

◎後期醫術.....三三

◎衛生學.....五〇

◎齒科醫術.....三三

▲外國語 言語學、古代語

◎佛語の獨修.....一

◎支那語.....七

◎英語.....一三、二、五、五九、一四、四三

◎梵語.....二〇、四八

◎獨逸語.....三七、八〇

◎英文.....五一

◎西班牙語.....七〇

◎韓語.....四三

◎露語.....八〇

◎英和字書.....

▲雜 職業、訓誨、遊戲

◎小學教員.....四

◎速記術.....七、四〇

- ◎女訓……………九
- ◎海運……………三
- ◎渡米……………九
- ◎新聞記者……………七、九
- ◎中學……………六
- ◎裁縫……………六、八
- ◎圍碁……………四
- ◎機關士……………五
- ◎料理……………五
- ◎獵犬……………三
- ◎禮式……………三
- ◎百科字典……………四
- ◎普通文官……………五

- ◎高等文官……………六
- ◎辨論、談話……………五、七
- ◎釀造……………六
- ◎鑛誌……………六
- ◎英米風俗……………社會ヲ見ヨ
- ◎上海……………三
- ◎師範學校……………經濟ヲ見ヨ
- ◎通商……………

(完)

38

明治三十六年五月五日印刷  
明治三十六年五月十五日發行

不許複製

發行元  
大賣捌

編纂者  
發行者  
印刷者

正價 金貳拾五錢

二六新報讀書彙記者

野村 鈴助

東京市京橋區出雲町二番地  
橫田 五十吉  
東京市神田區松下町十番地

東京市京橋區出雲町二番地(新橋際)

新橋堂書店

辻本 尙古堂

東京市京橋區南傳馬町一丁目

(電話新橋三六七七番)

# 圖 書 販 賣

『讀書の業』中に未だ記載無き事項にして適當の書籍御承知無之候は、  
御質問被下度候

右様の場合には各専門名家の御指教を得御答可致候間無遠慮質問被下  
不苦儀に御座候

書名御承知無之とも御需用の程度及び見積代金御送相成候得者前同様  
精選御送申上候

総べて御問合せは往復端書又は返信料御封入被下度又宿所姓名は楷書に  
て御認め奉願候

● 東京市京橋區出雲町二番地 電話 新橋 三六七七 新橋堂書店